



COMPANY PROFILE 2020

マツダ会社概況2020



MAZDA MOTOR CORPORATION
ESTD. 1920 HIROSHIMA, JAPAN

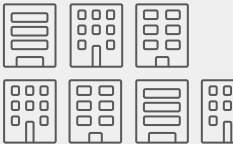
会社創立

1920年1月30日



連結子会社

69社



持分法適用関連会社

18社



従業員数

連結

50,479人



単体

23,203人



資本金

2,840億円

売上高

3兆4,303億円

営業利益

436億円

親会社株主に帰属する当期純利益

121億円

事業概況

販売国・地域数

130カ国・地域以上



グローバル生産台数

1,434,204台



グローバル販売台数

1,419,346台



欧州

販売台数

263,507台

アジア・大洋州

生産台数

330,880台

販売台数

432,931台

日本

生産台数

971,974台

販売台数

202,359台

輸出台数

808,739台

北米

生産台数

131,350台

販売台数

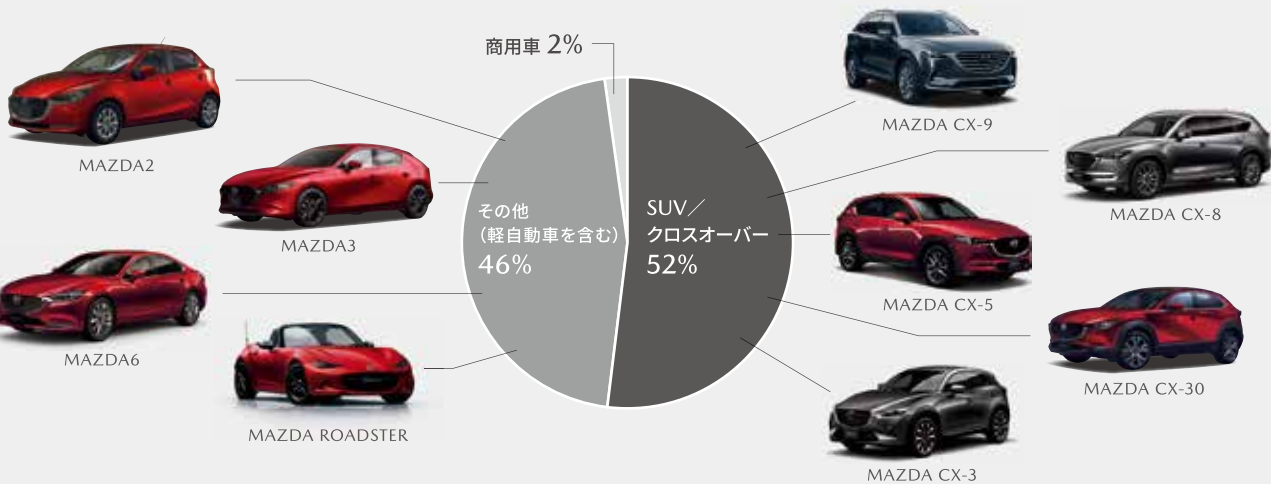
396,041台

カリブ・中南米・中近東・アフリカ

販売台数

124,508台

モデルタイプ別販売比率 (グローバル)



Contents

マツダの全体像
MAZDA AT A GLANCE 01
一目でわかるマツダ
会社概要 02
主要財務データ 04
役員紹介 06
主な子会社・関連会社 08
カーラインアップ 10

マツダのグローバル活動
グローバルでの事業ヒストリー 14
日本 16
北米 20
欧州 22
アジア・大洋州 24
カリブ・中南米・中近東・アフリカ 28

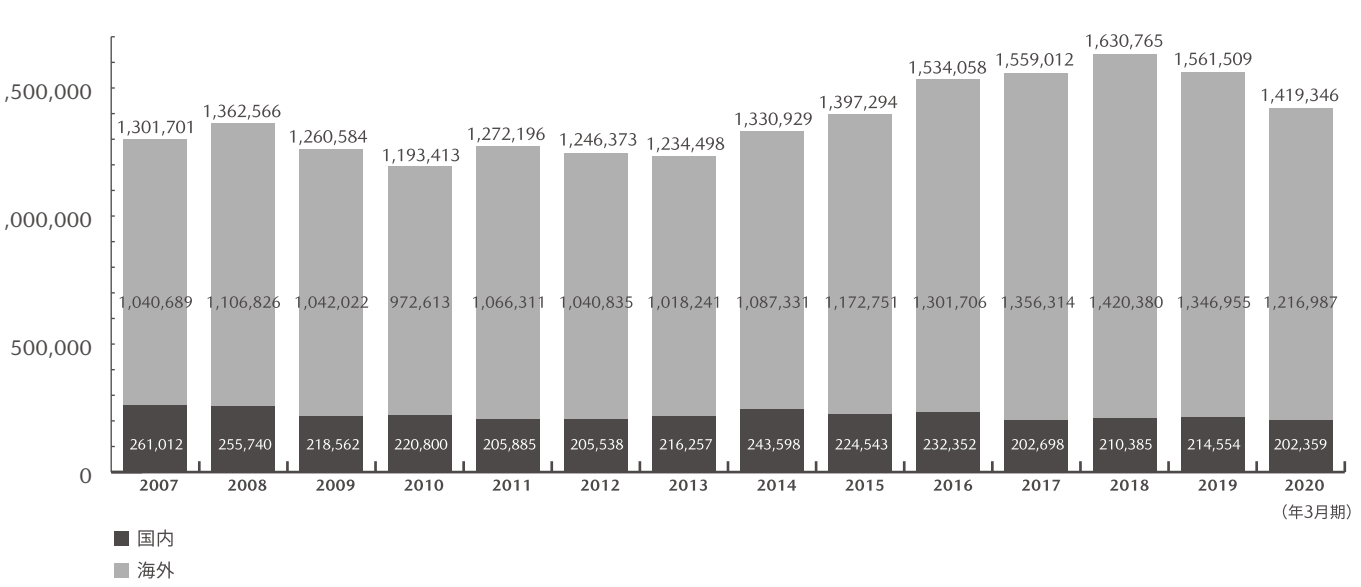
マツダの歴史
社歴 30

会社概要
(2020年3月31日時点)

会社情報

社名	マツダ株式会社 (英訳名: Mazda Motor Corporation)		
会社創立	1920年1月30日		
本社	〒730-8670 広島県安芸郡府中町新地3番1号		
代表者	代表取締役社長兼CEO (最高経営責任者) 丸本 明		
主な事業内容	乗用車・トラックの製造、販売など		
株式	発行可能株式総数 1,200,000,000株 発行済株式総数 631,803,979株 株主数 148,222名		
大株主	株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	39,825	6.3
	トヨタ自動車株式会社	31,928	5.1
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	30,219	4.8
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	15,699	2.5
	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	12,389	2.0
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	12,002	1.9
	株式会社三井住友銀行	10,191	1.6
	ジェーピー モルガン チェース バンク385151	10,094	1.6
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口7)	9,523	1.5
	ザ バンク オブ ニューヨーク メロン140051	9,067	1.4
* 持株比率は、自己株式2,010,576株を控除して計算しています。			

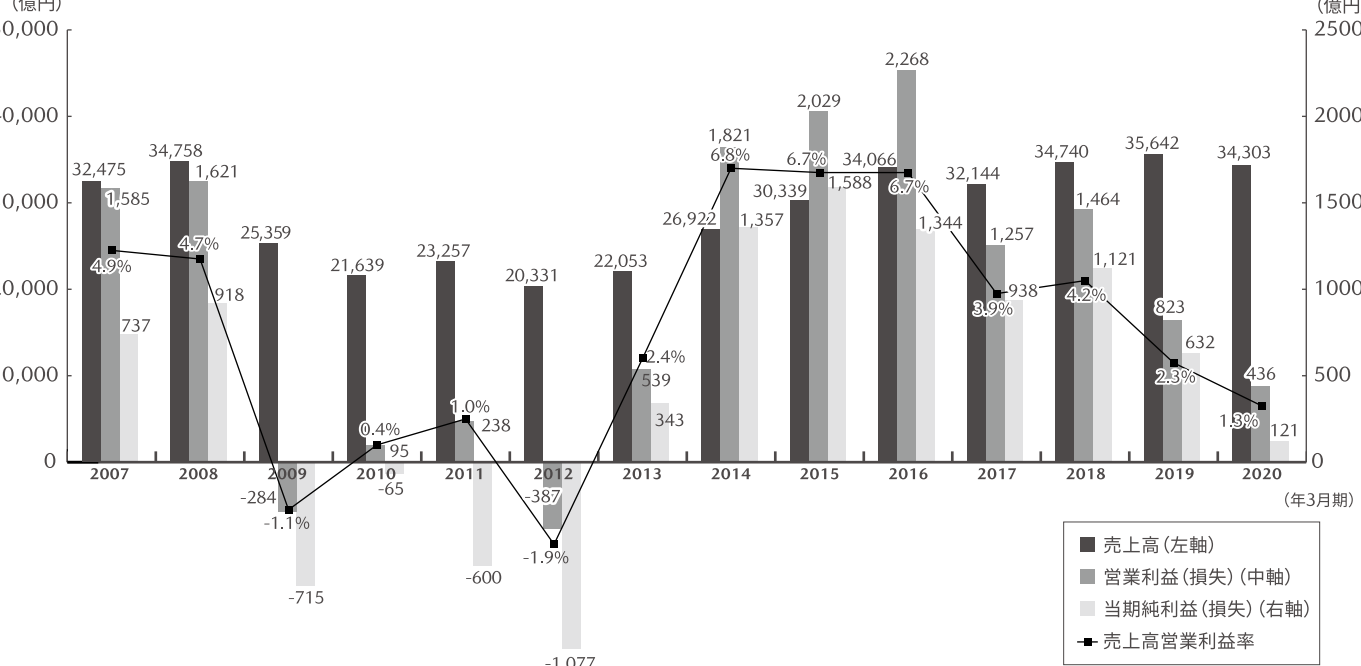
販売台数



資本金	2,840億円
従業員数	<div> <div>単体</div> <div>合計: 23,203名 (男性: 20,947名 女性: 2,256名) ※1</div> </div> <div> <div>連結</div> <div>合計: 50,479名 ※2</div> </div>
研究開発拠点	本社、マツダR&Dセンター横浜、マツダノースアメリカンオペレーションズ(米国)、マツダモーターヨーロッパ(ドイツ)、中国技術支援センター(中国)
生産拠点	<div>国内: 本社工場(本社、宇品)、防府工場(西浦、中関)、三次事業所</div> <div>海外: 中国、タイ、メキシコ、ベトナム※3、マレーシア※3、ロシア※3</div>
販売会社	<div>国内: 212社</div> <div>海外: 140社</div>
主要製品	四輪自動車、ガソリンレシプロエンジン、ディーゼルエンジン、自動車用手動／自動変速機

※1 マツダ(株) 外部から受け入れた出向者を除き、マツダ(株) 外部への出向者を含む
※2 マツダグループ外部への出向者を除き、グループ外部から受け入れた出向者を含む
※3 現地組立のみ(生産台数は公表対象外)

売上高／営業利益／売上高営業利益率／親会社株主に帰属する当期純利益



主要財務データ

マツダ株式会社及び連結子会社
3月31日に終了した各年度

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019* 12	2020	2020
経営成績*2（百万円）：												千米ドル* 1
売上高*3	¥2,163,949	¥2,325,689	¥2,033,058	¥2,205,270	¥2,692,238	¥3,033,899	¥3,406,603	¥3,214,363	¥3,474,024	¥3,564,172	¥3,430,285	\$31,470,505
国内	574,982	541,490	560,216	588,042	655,716	617,397	660,935	587,025	631,229	693,581	629,911	5,779,000
海外	1,588,967	1,784,199	1,472,842	1,617,228	2,036,522	2,416,502	2,745,668	2,627,338	2,842,795	2,870,591	2,800,374	25,691,505
売上原価	1,710,699	1,863,678	1,662,592	1,729,296	1,993,643	2,247,720	2,567,465	2,448,184	2,653,600	2,772,184	2,683,647	24,620,615
販売費及び一般管理費	443,792	438,176	409,184	422,038	516,474	583,291	612,363	640,492	674,003	709,681	703,035	6,449,862
営業利益（損失）	9,458	23,835	(38,718)	53,936	182,121	202,888	226,775	125,687	146,421	82,307	43,603	400,028
税金等調整前当期純利益（損失）	(7,265)	16,081	(55,262)	39,101	97,409	209,335	166,986	128,413	157,484	107,567	49,282	452,128
親会社株主に帰属する当期純利益（損失）	(6,478)	(60,042)	(107,733)	34,304	135,699	158,808	134,419	93,780	112,057	63,155	12,131	111,294
設備投資額*4	29,837	44,722	78,040	77,190	133,216	131,010	89,214	94,399	104,129	119,734	132,578	1,216,312
減価償却費	76,428	71,576	68,791	59,954	57,656	68,872	78,972	82,416	86,954	88,443	92,269	846,505
研究開発費	85,206	90,961	91,716	89,930	99,363	108,378	116,610	126,915	136,009	134,660	135,009	1,238,615
キャッシュ・フロー：												
営業活動によるキャッシュ・フロー	111,646	15,344	(9,098)	49,033	136,379	204,459	262,770	161,097	207,795	146,690	34,834	319,578
投資活動によるキャッシュ・フロー	(44,252)	(13,717)	(70,317)	(40,287)	(120,057)	(95,548)	(108,092)	(63,751)	(159,989)	(131,611)	(127,578)	(1,170,440)
フリー・キャッシュ・フロー*5	67,394	1,627	(79,415)	8,746	16,322	108,911	154,678	97,346	47,806	15,079	(92,744)	(850,862)
財務活動によるキャッシュ・フロー	60,951	(14,360)	236,462	(57,181)	10,483	(62,776)	(94,062)	(149,898)	30,461	83,411	(24,274)	(222,697)
財政状態（百万円）：												
総資産	¥1,947,769	¥1,771,767	¥1,915,943	¥1,978,567	¥2,246,036	¥2,473,287	¥2,548,401	¥2,524,552	¥2,724,092*11	¥2,877,613	¥2,787,640	\$25,574,679
純資産	509,815	430,539	474,429	513,226	676,837	891,326	976,723	1,064,038	1,219,470	1,233,441	1,205,846	11,062,807
有利子負債	722,128	693,000	778,085	718,983	742,735	701,019	617,132	491,434	497,893	607,051	619,868	5,686,862
純有利子負債	375,825	370,151	300,778	274,108	262,981	171,871	48,418	(35,430)	(106,961)	(94,573)	51,874	475,908
1株当たり情報（円）：												米ドル* 1
当期純利益*6	¥ (4.26)	¥ (33.92)	¥ (57.80)	¥ 11.48	¥ 226.99*10	¥ 265.64*10	¥ 224.85	¥ 156.87	¥ 182.93	¥ 100.28	¥ 19.26	\$0.18
年間配当金*7	3.00	—	—	—	1.00	10.00	30.00	35.00	35.00	35.00	35.00	0.32
純資産*8	286.92	242.24	156.85	166.04	1,105.21*10	1,454.61*10	1,595.83	1,738.70	1,894.29	1,910.67	1,865.63	17.12
財務指標（％）：												
売上高営業利益率	0.4%	1.0%	(1.9) %	2.4%	6.8%	6.7%	6.7%	3.9%	4.2%	2.3%	1.3%	

* 1 日本円金額の米ドルへの換算は、日本国外の読者の便宜のためにのみ記載したものであり、2020年3月31日の実勢為替相場(1米ドルにつき109円)で換算しています。

2 海外の子会社の決算期変更に伴い、2011年3月31日終了年度の連結業績には、当該海外子会社の15ヵ月分の業績が含まれています。

3 売上高は顧客の所在地を基礎とし、地域に分類しています。

4 設備投資額は発生ベースで計算されています。

5 フリー・キャッシュ・フローは営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの合計を表しています。

6 1株当たり当期純利益は、各事業年度の発行済株式数の加重平均に基づいて算出されています。

7 1株当たり年間配当金は各事業年度における実際の配当金額を表しています。

8 1株当たり純資産の計算における純資産の金額は、連結貸借対照表の純資産の金額より非支配株主持分

(及び2010年3月期から2013年3月期まで、並びに2017年3月期から2020年3月期においては新株予約権)を控除した金額を使っています。

9 自己資本の金額は、連結貸借対照表の純資産の金額より非支配株主持分(及び2010年3月期から2013年3月期まで、

並びに2017年3月期から2020年3月期においては新株予約権)を控除した金額を使っています。

10 2014年8月1日付で普通株式について5株を1株の割合で株式併合を行っており、2014年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、

期中平均発行済株式総数、1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産を算定しています。

11「税効果会計に係る会計基準の一部改正」等を2019年3月期の期首から適用しており、2018年3月期に係る総資産及び自己資本比率については、

当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっています。

12 米国会計基準を適用している在外連結子会社において、2020年3月期の期首より、ASU第2014-09号

当該会計方針の変更は遡及適用され、2019年3月期について

取締役および執行役員（2020年6月24日時点）

取締役



所有する当社株式
12,400株

小飼 雅道
代表取締役会長

1977.4 当社入社
2004.6 当社執行役員防府工場長
2008.4 当社常務執行役員
2010.4 当社専務執行役員
2010.6 当社取締役専務執行役員
2013.6 当社代表取締役社長兼CEO
（最高経営責任者）
2018.6 当社代表取締役会長（現）



所有する当社株式
11,400株

丸本 明
代表取締役

1980.4 当社入社
1997.6 当社主査本部主査
1999.6 当社取締役
2002.6 当社執行役員
2006.4 当社常務執行役員
2010.4 当社専務執行役員
2010.6 当社取締役専務執行役員
2013.6 当社代表取締役副社長執行役員
2018.6 当社代表取締役社長兼CEO
（最高経営責任者）（現）



所有する当社株式
10,000株

藤原 清志
代表取締役

1982.3 当社入社
2003.3 マツダモーターヨーロッパGmbH
副社長
2005.6 当社商品企画ビジネス戦略部長
2008.11 当社執行役員
2013.6 当社常務執行役員
2015.4 当社常務執行役員
株式会社マツダE&T
代表取締役社長
2016.4 当社専務執行役員
2016.6 当社取締役専務執行役員
2018.6 当社代表取締役副社長執行役員（現）



所有する当社株式
7,900株

菖蒲田 清孝
取締役

1982.3 当社入社
2006.4 当社防府工場副工場長
2008.11 当社執行役員
オートアライアンス(タイランド)
Co., Ltd.社長
2013.6 当社常務執行役員
2016.4 当社専務執行役員
2016.6 当社取締役専務執行役員（現）



所有する当社株式
11,400株

坂井 一郎
取締役監査等委員

1968.4 検事任官
1999.12 横浜地方検察庁検事正
2001.5 法務省法務総合研究所長
2002.10 広島高等検察庁検事長
2004.6 福岡高等検察庁検事長
2005.4 弁護士登録（第一東京弁護士会）（現）
2005.6 東レ株式会社社外監査役
2006.2 キュービー株式会社社外監査役
2007.6 当社監査役
2011.6 当社取締役
2014.2 キュービー株式会社社外取締役
2019.6 当社取締役監査等委員（現）



所有する当社株式
1,200株

玉野 邦彦
取締役監査等委員

1974.4 伊藤忠商事株式会社入社
1999.1 同社経理部税務室長
2006.6 同社執行役員
2009.4 同社常務執行役員
2010.6 株式会社日本アクセス専務取締役
2011.4 伊藤忠商事株式会社常務執行役員
CFO補佐（兼）統合リスク
マネジメント部長
2014.4 同社理事
2014.6 株式会社日本アクセス代表取締役
副社長
2016.6 同社相談役
2017.6 同社理事
2017.6 当社監査役
2019.6 当社取締役監査等委員（現）



所有する当社株式
700株

北村 明良
取締役監査等委員

1974.4 株式会社住友銀行
（現 株式会社三井住友銀行）入行
2003.6 同行執行役員
2006.4 同行常務執行役員
2007.4 同行取締役兼専務執行役員
2008.4 同行代表取締役兼専務執行役員
2009.4 株式会社関西アーバン銀行
（現 株式会社関西みらい銀行）顧問
2009.6 同行取締役副会長（代表取締役）
2010.3 同行取締役会長（代表取締役）
兼最高経営責任者
2016.6 同行顧問
2018.4 アーク不動産株式会社
社外取締役（現）
2018.6 当社監査役
2019.6 当社取締役監査等委員（現）
2020.6 東洋アルミニウム株式会社社外監査役（現）



所有する当社株式
100株

柴崎 博子
取締役監査等委員

1974.4 東京海上火災保険株式会社
（現 東京海上日動火災保険株式会社）
入社
2008.7 同社理事お客様の声部長
2010.7 同社理事福岡中央支店長
2012.4 同社執行役員福岡中央支店長
2015.4 同社常務執行役員
2018.4 同社顧問
2019.6 当社取締役監査等委員（現）



所有する当社株式
900株

小野 満
取締役

1981.4 株式会社住友銀行
（現 株式会社三井住友銀行）入行
2011.4 同行執行役員 国際与信管理部長
2015.6 同行常任監査役
2017.5 当社顧問
2017.6 当社取締役専務執行役員（現）



所有する当社株式
2,400株

古賀 亮
取締役

1984.3 当社入社
2002.2 当社経営企画部長
2004.3 当社企画本部長
2008.11 当社執行役員
2011.4 マツダモーターオブ アメリカ,Inc.
（マツダノースアメリカン
オペレーションズ）執行副社長
当社常務執行役員
2013.6 当社専務執行役員
2016.4 当社取締役専務執行役員（現）
2018.6 当社取締役専務執行役員（現）



所有する当社株式
1,300株

毛籠 勝弘
取締役

1983.3 当社入社
2002.8 当社グローバルマーケティング本部長
2004.3 当社マツダモーターヨーロッパ
GmbH副社長
2008.11 当社執行役員
2013.6 当社常務執行役員
2016.1 当社常務執行役員
マツダモーターオブアメリカ, Inc.
（マツダノースアメリカン
オペレーションズ）社長兼CEO
2016.4 当社専務執行役員
2019.4 当社専務執行役員
マツダモーターオブアメリカ, Inc.
（マツダノースアメリカン
オペレーションズ）会長兼CEO
2019.6 当社取締役専務執行役員（現）



所有する当社株式
200株

佐藤 潔
取締役

1979.4 東京エレクトロン株式会社入社
2001.12 同社クリーントラックビジネス
ユニットジェネラルマネージャー
2003.6 同社代表取締役社長
2009.4 同社取締役副会長
2011.6 同社取締役
2014.7 同社顧問（～2016年6月）
2016.6 東京エレクトロン山梨株式会社
監査役
2017.6 東芝機械株式会社（現 芝浦機械
株式会社）社外取締役（現）
2017.7 東京エレクトロン株式会社顧問
（～2019年6月）
2019.6 稲畑産業株式会社社外取締役（現）
2019.6 当社取締役（現）

執行役員 * 印は取締役との兼務を示します

社長兼CEO(最高経営責任者) _____

丸本 明*

副社長執行役員 _____

藤原 清志*

社長補佐、グローバルマーケティング・販売・
カスタマーサービス統括

専務執行役員 _____

菖蒲田 清孝*

品質・ブランド推進・購買・生産・物流統括

小野 満*

財務・管理領域統括

古賀 亮*

企画領域・渉外・MDI&IT統括

毛籠 勝弘*

北米事業統括、マツダモーターオブアメリカ, Inc.
（マツダノースアメリカンオペレーションズ）会長兼
CEO

廣瀬 一郎

研究開発・コスト革新統括

ジェフリー・エイチ・ガイトン

北米事業・ブランド推進統括補佐、マツダモーター
オブアメリカ, Inc.（マツダノースアメリカン
オペレーションズ）社長

フェロー

シニアイノベーションフェロー _____

人見 光夫

常務執行役員 _____

藤川 和久

グローバル購買・コスト革新担当

福原 和幸

マツダクレジット株式会社代表取締役社長、
マツダ中販株式会社代表取締役社長

前田 育男

デザイン・ブランドスタイル担当

藤本 哲也

企画領域統括補佐、財務担当

渡部 宣彦

中国事業担当、マツダ（中国）企業管理有限公司
董事長

井上 寛

豪亜・新興国事業担当、マツダ・サウス・
イースト・アジア, Ltd.社長

青山 裕大

欧州事業担当、ブランド推進統括補佐、
マツダモーターヨーロッパGmbH社長兼CEO

吉原 誠

管理領域統括補佐、グローバル監査・CSR・
環境・秘書・総務・法務・コンプライアンス・
リスクマネジメント担当

向井 武司

グローバル生産・グローバル物流・
コスト革新担当

川上 英範

グローバル品質担当、コスト革新担当補佐

執行役員 _____

水谷 智春

マツダモトールマヌファクチャリングデメヒコ
S,A de C.V.（マツダデメヒコビークル
オペレーション）社長兼CEO

相原 真志

マツダトヨタマニュファクチャリングUSA, Inc.社長

梅下 隆一

ブランド推進・グローバルマーケティング・販売・
カスタマーサービス担当

吉田 和久

グローバル人事・安全・病院担当

工藤 秀俊

R&D管理・商品戦略・技術研究所担当

松本 浩幸

車両開発・商品企画担当

小島 岳二

広報・渉外・東京本社担当

木谷 昭博

MDI&IT本部長

中井 英二

パワートレイン開発・統合制御システム開発担当

杉山 郁男

マツダトヨタマニュファクチャリングUSA, Inc. 副社長

田中 浩憲

国内営業担当

滝村 典之

人事本部長

川村 修

中国事業本部長

主な子会社・関連会社
 （2020年3月31日時点）

連結子会社
 69社

会社名	所在国・地域	所有率	業務内容
マツダモーターオブアメリカ, Inc.	米国・カリフォルニア州アーバイン市	100.0%	自動車および部品販売
マツダカナダ, Inc.	カナダ・オンタリオ州リッチモンドヒル市	100.0%	自動車および部品販売
マツダモートルデメヒコS. de R.L. de C.V.	メキシコ・メキシコ市	100.0%	自動車および部品販売
マツダセルヴィシオスデメヒコS. de R.L. de C.V.	メキシコ・メキシコ市	100.0%	マツダモートルデメヒコに対する人材サービス
マツダモートルマヌファクトゥリングデメヒコS.A. de C.V.	メキシコ・グアナファト州サラマンカ市	75.0%	自動車製造販売
マツダモートルオペラシオネスデメヒコS.A. de C.V.	メキシコ・グアナファト州サラマンカ市	75.0%	マツダモートルマヌファクトゥリングデメヒコに対する人材サービス
マツダモータース(ドイツランド) GmbH	ドイツ・ノルトラインウエストファーレン州レバークーゼン市	100.0%	自動車および部品販売
マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V.	ベルギー・アントワープ州ウィルブローク市	100.0%	自動車および部品販売
マツダモーターヨーロッパGmbH	ドイツ・ノルトラインウエストファーレン州レバークーゼン市	100.0%	欧州市場の事業統括
マツダオトモビルフランスS.A.S.	フランス・サンジェルマンアンレイ	100.0%	自動車および部品販売
マツダモータースUK Ltd.	英国・ケント州ダートフォード市	100.0%	自動車および部品販売
マツダスイスS.A.	スイス・ブチランシー市	100.0%	自動車および部品販売
マツダモートルデポルトガルLda.	ポルトガル・リスボン市	100.0%	自動車および部品販売
マツダモーターイタリア, S.r.l.	イタリア・ローマ市	100.0%	自動車および部品販売
マツダオートモービルズエスパーニャ, S.A.	スペイン・マドリッド市	100.0%	自動車および部品販売
マツダオーストリアGmbH	オーストリア・クラゲンフルト市	100.0%	自動車および部品販売
マツダモーターロシア, OOO	ロシア・モスクワ市	100.0%	自動車および部品販売
マツダオーストラリアPty. Ltd.	オーストラリア・ビクトリア州モルグレイブ	100.0%	自動車および部品販売
マツダモータースオブニュージーランドLtd.	ニュージーランド・オークランド市	100.0%	自動車および部品販売
マツダセールス(タイランド) Co., Ltd.	タイ・バンコク市	96.1%	自動車および部品販売
マツダパワートレインマニュファクチャリング(タイランド) Co., Ltd.	タイ・チョンブリ県	100.0%	自動車部品製造販売
マツダマレーシアSdn. Bhd.	マレーシア・スランゴール州	70.0%	自動車製造(委託生産)・販売
マツダ(中国) 企業管理有限公司	中国・上海市	100.0%	中国市場の事業統括
台湾マツダ汽車股份有限公司	台湾・台北市	100.0%	自動車および部品販売
マツダサザンアフリカ(Pty) Ltd	南アフリカ共和国・ヨハネスブルグ市	70.0%	自動車および部品販売
マツダデコロンビアS.A.S.	コロンビア・ボゴタ市	100.0%	自動車および部品販売
マツダ中販(株)	広島県広島市南区	100.0%	中古自動車販売
マツダモーターインターナショナル(株)	広島県安芸郡府中町	100.0%	自動車販売
マツダエース(株)	広島県安芸郡府中町	100.0%	警備防災、保険販売およびエンジニアリング事業
マツダロジスティクス(株)	広島県広島市南区	100.0%	自動車および部品運送
倉敷化工(株)	岡山県倉敷市	75.0%	自動車部品製造販売

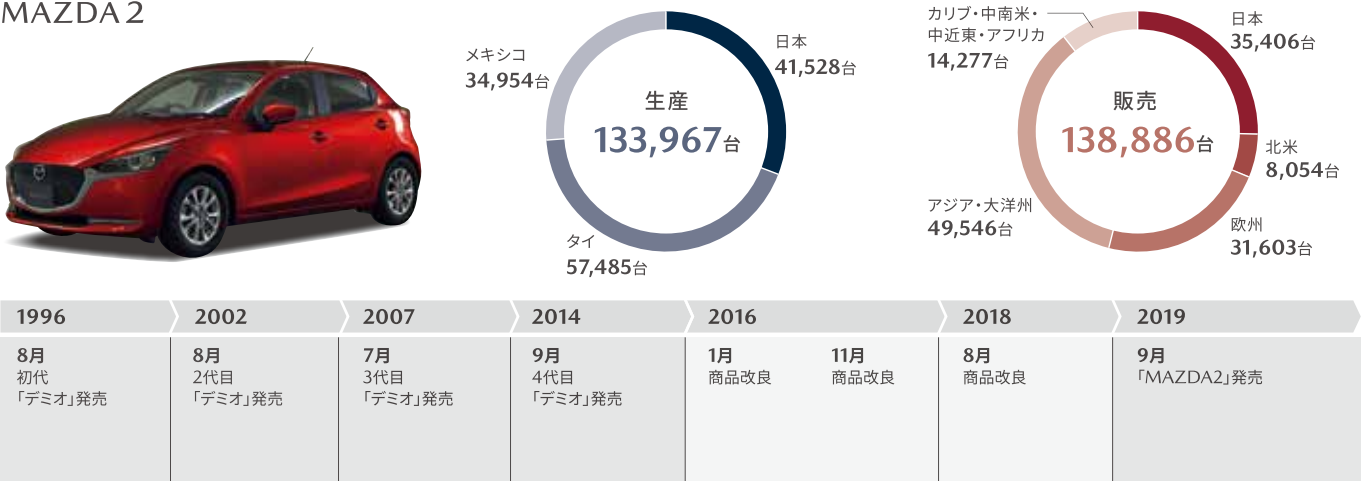
会社名	所在国・地域	所有率	業務内容
(株)マツダE&T	広島県広島市南区	100.0%	自動車の開発受託及び特装車の架装・販売
マツダパーツ(株)	広島県広島市東区	100.0%	自動車部品の販売
(株)函館マツダ	北海道函館市	100.0%	自動車および部品販売
(株)東北マツダ	宮城県仙台市宮城野区	100.0%	自動車および部品販売
(株)福島マツダ	福島県郡山市	100.0%	自動車および部品販売
(株)北関東マツダ	茨城県水戸市	100.0%	自動車および部品販売
(株)甲信マツダ	長野県長野市	100.0%	自動車および部品販売
(株)関東マツダ	東京都北区	100.0%	自動車および部品販売
静岡マツダ(株)	静岡県静岡市駿河区	100.0%	自動車および部品販売
東海マツダ販売(株)	愛知県名古屋市瑞穂区	100.0%	自動車および部品販売
(株)北陸マツダ	石川県野々市市	100.0%	自動車および部品販売
(株)京滋マツダ	京都府京都市南区	100.0%	自動車および部品販売
(株)関西マツダ	大阪府大阪市浪速区	100.0%	自動車および部品販売
(株)西四国マツダ	愛媛県松山市	100.0%	自動車および部品販売
(株)九州マツダ	福岡県福岡市博多区	100.0%	自動車および部品販売
(株)南九州マツダ	鹿児島県鹿児島市	100.0%	自動車および部品販売
沖縄マツダ販売(株)	沖縄県浦添市	100.0%	自動車および部品販売
その他　21社	－	－	－

持分法適用関連会社
 18社

会社名	所在国・地域	所有率	業務内容
マツダトヨタマニュファクチャリングUSA, Inc.	米国・アラバマ州ハンツビル市	50.0%	自動車製造販売
マツダソラーズマヌファクトゥリングルースLLC	ロシア・ウラジオストク市	50.0%	自動車製造販売
オートアライアンス(タイランド) Co., Ltd.	タイ・ラヨーン県	50.0%	自動車製造販売
長安マツダ汽車有限公司	中国・南京市	50.0%	自動車製造販売
長安マツダエンジン有限公司	中国・南京市	50.0%	自動車部品製造販売
一汽マツダ汽車販売有限公司	中国・長春市	40.0%	自動車および部品販売
トーヨーエイテック(株)	広島県広島市南区	50.0%	工作機械製造販売
(株)日本クライメイトシステムズ	広島県東広島市	33.3%	自動車部品製造販売
ヨシワ工業(株)	広島県安芸郡海田町	33.3%	自動車部品製造販売
(株)サンフレッチェ広島	広島県広島市中区	17.1%	プロサッカー・球団運営
(株)マツダプロセシング中国	広島県広島市安芸区	29.0%	納車点検・架装
マツダクレジット(株)	大阪府大阪市北区	47.5%	自動車販売金融事業
MCMエネルギーサービス(株)	広島県広島市南区	40.0%	電力・蒸気供給事業
マツダ部品広島販売(株)	広島県安芸郡坂町	33.3%	自動車部品販売
その他　4社	－	－	－

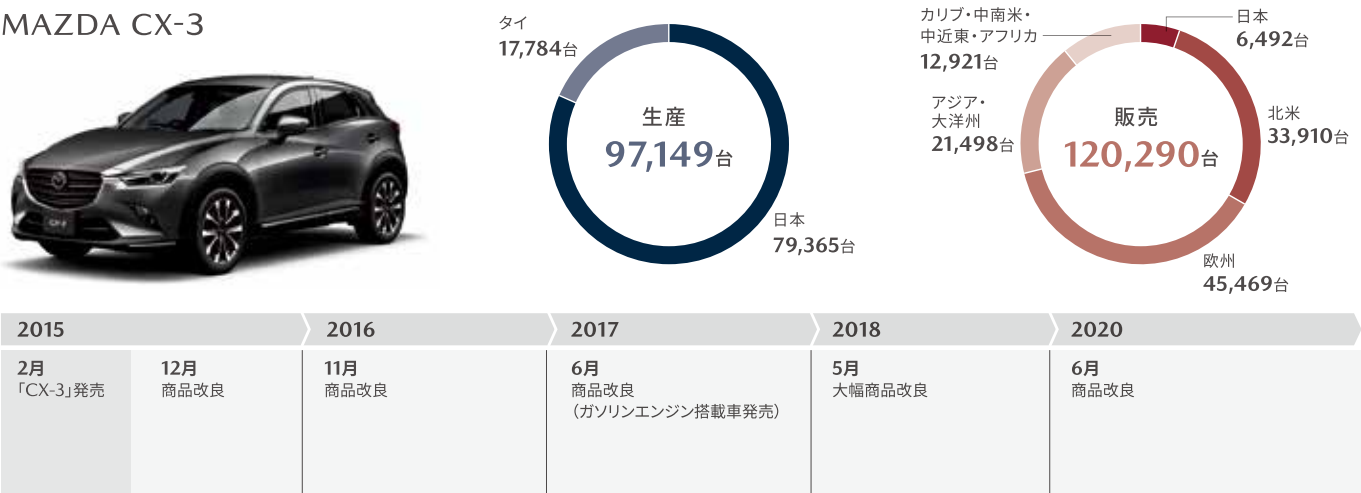
乗 用 車

MAZDA 2



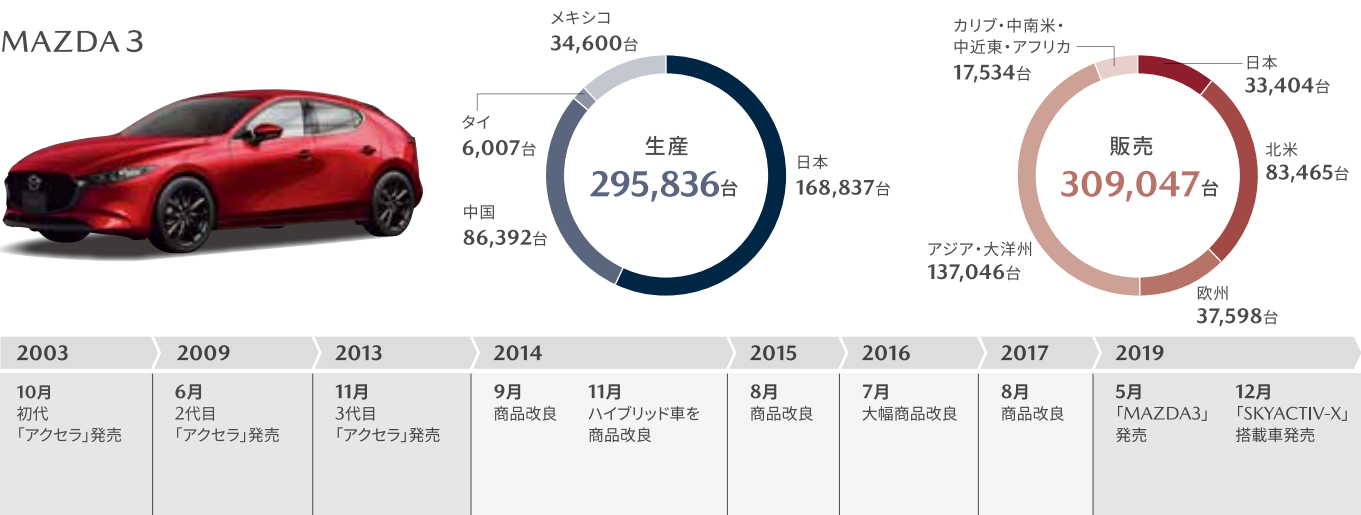
※ 日本での系図

MAZDA CX-3



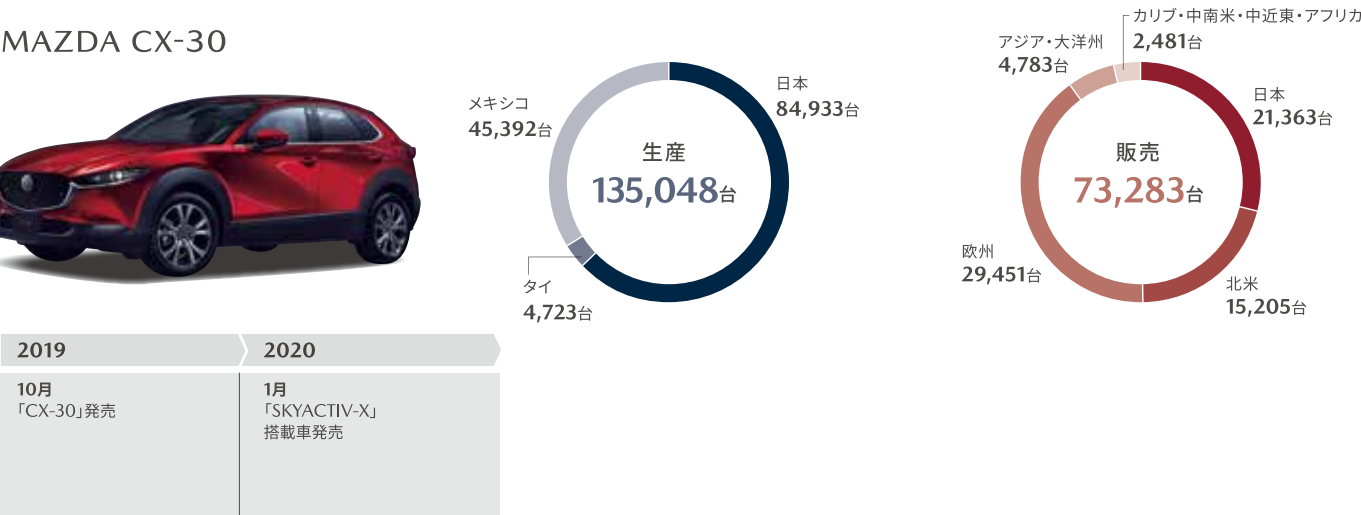
※ 日本での系図

MAZDA 3



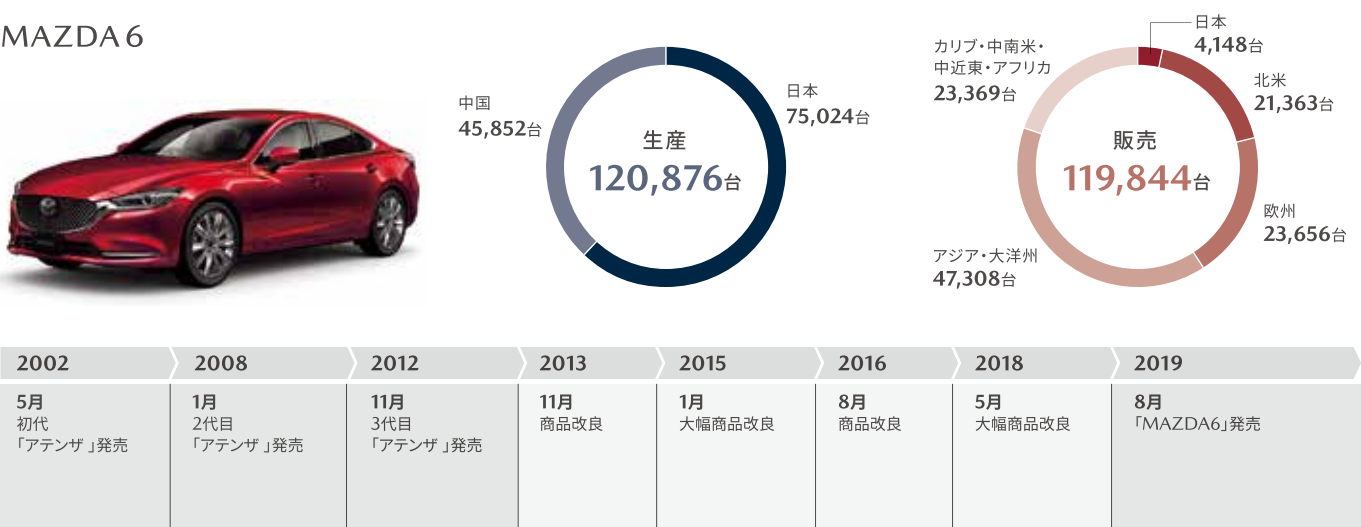
※ 日本での系図

MAZDA CX-30



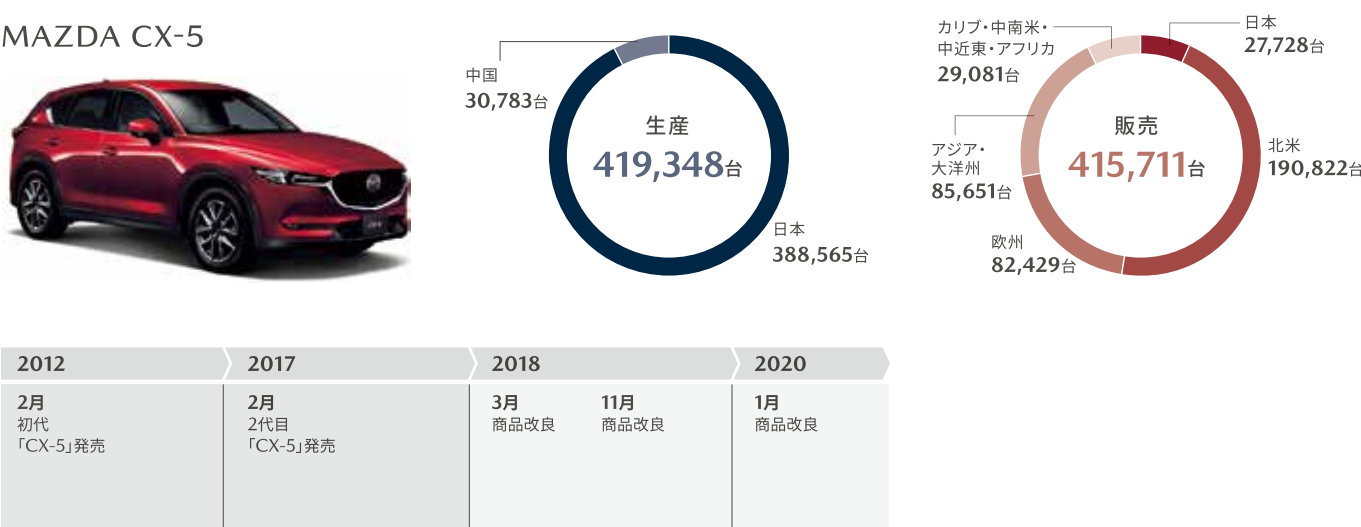
※ 日本での系図

MAZDA 6



※ 日本での系図

MAZDA CX-5



※ 日本での系図

カーラインアップ ※生産台数、販売台数は2020年3月期実績

乗 用 車

MAZDA CX-8



2017	2018	2019
12月 「CX-8」発売	11月 商品改良 (ガソリンエンジン搭載車発売)	11月 商品改良

※ 日本での系図

MAZDA ROADSTER
(海外市場名: MAZDA MX-5)



1989	1998	2005	2015	2016	2017	2018	2019
9月 「ユーノスロードスター」発売	1月 2代目「ロードスター」発売	8月 3代目 「ロードスター」発売	5月 4代目 「ロードスター」発売	12月 「ロードスターRF」発売	12月 商品改良	7月 商品改良	12月 商品改良

※ 日本での系図

MAZDA MX-30



▲2019年10月東京モーターショーにて「MX-30」を世界初公開

海外専用車

MAZDA2 SEDAN



2020年3月期 販売台数
39,348台

MAZDA CX-4



2020年3月期 販売台数
44,682台

MAZDA CX-9



2020年3月期 販売台数
60,725台

MAZDA BT-50



2020年3月期 販売台数
32,096台

軽自動車

MAZDA FLAIR



2020年3月期 販売台数
6,333台

MAZDA FLAIR WAGON



2020年3月期 販売台数
13,833台

MAZDA SCRUM WAGON



2020年3月期 販売台数
1,054台

MAZDA CAROL



2020年3月期 販売台数
4,939台

MAZDA FLAIR CROSSOVER



2020年3月期 販売台数
3,111台

商用車

MAZDA BONGO BRAWNY VAN



2020年3月期 販売台数
591台

MAZDA BONGO VAN



2020年3月期 販売台数
4,081台

MAZDA BONGO TRUCK



2020年3月期 販売台数
6,338台

MAZDA FAMILIA VAN



2020年3月期 販売台数
1,716台

MAZDA TITAN



2020年3月期 販売台数
1,433台

MAZDA SCRUM VAN



2020年3月期 販売台数
5,400台

MAZDA SCRUM TRUCK



2020年3月期 販売台数
2,475台

福祉車両

MAZDA ROADSTER



MAZDA ROADSTER RF



MAZDA 2



MAZDA CX-5

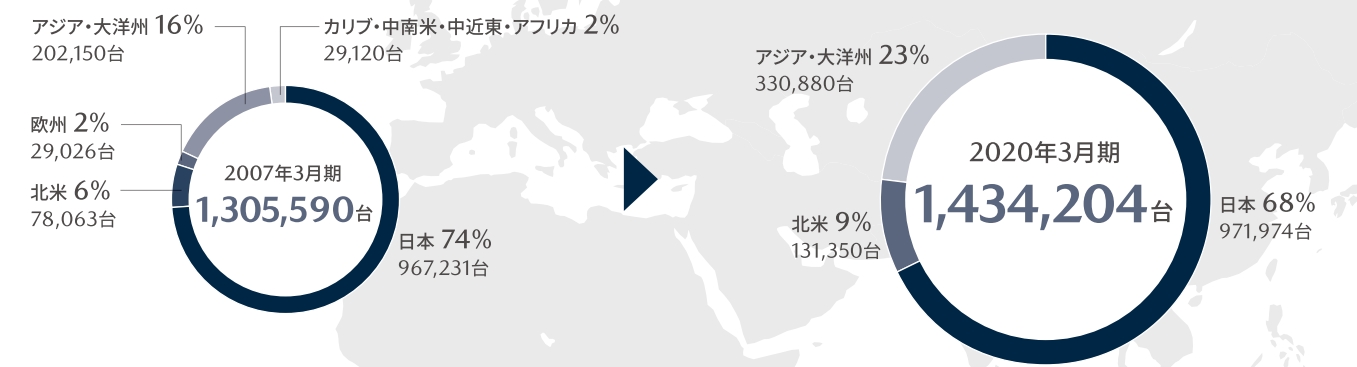


MAZDA FLAIR WAGON



グローバル生産台数

1,434,204台



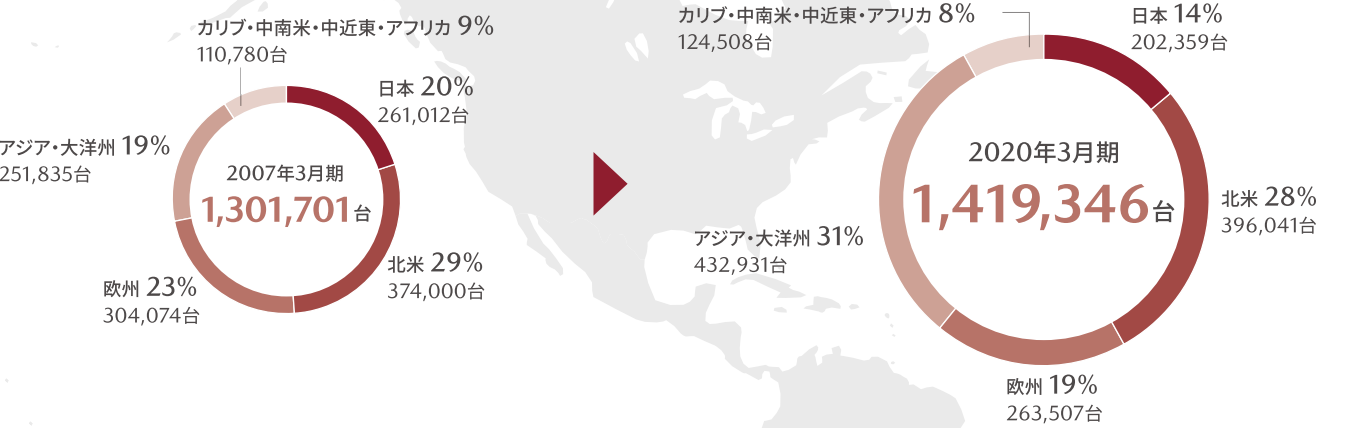
グローバル生産台数

	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期
日本	967,231	1,046,948	899,448	827,910	866,992	846,574	879,129
北米	78,063	78,412	66,926	49,281	52,600	48,624	19,101
欧州	29,026	5,708	—	—	—	—	—
アジア・大洋州	202,150	174,039	149,846	251,125	339,479	276,929	283,201
カリブ・中南米・中近東・アフリカ	29,120	20,352	17,935	15,188	18,423	13,095	18,583
総計	1,305,590	1,325,459	1,134,155	1,143,504	1,277,494	1,185,222	1,200,014

	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
日本	972,533	919,405	989,401	964,640	986,862	1,010,160	971,974
北米	10,007	140,089	213,088	195,148	180,445	168,694	131,350
欧州	—	—	—	—	—	—	—
アジア・大洋州	274,715	306,056	366,109	432,020	452,225	390,811	330,880
カリブ・中南米・中近東・アフリカ	12,041	9,513	2,616	—	—	—	—
総計	1,269,296	1,375,063	1,571,214	1,591,808	1,619,532	1,569,665	1,434,204

グローバル販売台数

1,419,346台



グローバル販売台数

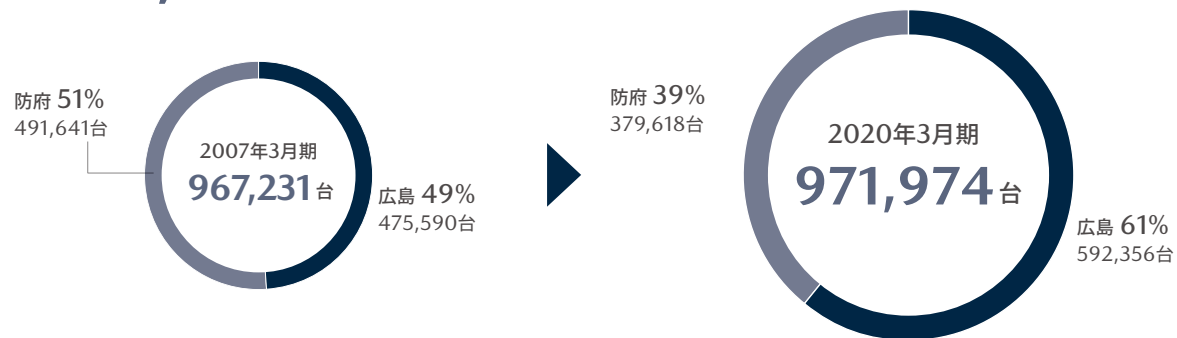
	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期
日本	261,012	255,740	218,562	220,800	205,885	205,538	216,257
北米	374,000	401,243	343,611	303,855	339,712	369,745	370,726
欧州	304,074	326,586	321,645	238,904	211,488	182,685	171,540
アジア・大洋州	251,835	229,174	249,030	323,935	401,987	404,001	400,988
カリブ・中南米・中近東・アフリカ	110,780	149,823	127,736	105,919	113,124	84,406	74,987
総計	1,301,701	1,362,566	1,260,584	1,193,413	1,272,196	1,246,375	1,234,498

	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
日本	243,598	224,543	232,352	202,698	210,385	214,554	202,359
北米	388,165	422,736	435,732	426,966	433,796	419,860	396,041
欧州	206,724	229,133	256,516	261,550	268,581	269,778	263,507
アジア・大洋州	399,198	419,520	487,110	551,865	592,442	530,373	432,931
カリブ・中南米・中近東・アフリカ	93,244	101,362	122,348	115,933	125,561	126,944	124,508
総計	1,330,929	1,397,294	1,534,058	1,559,012	1,630,765	1,561,509	1,419,346

地域別の活動／日本（2020年3月31日時点）

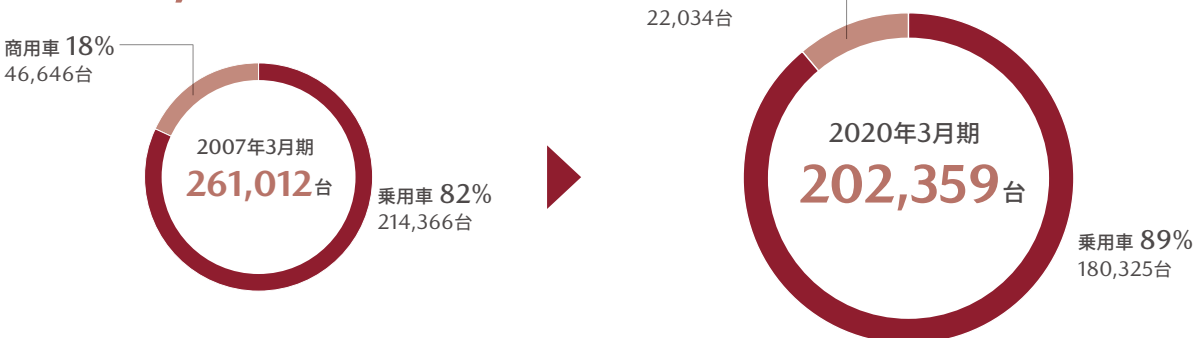
生産台数

971,974台



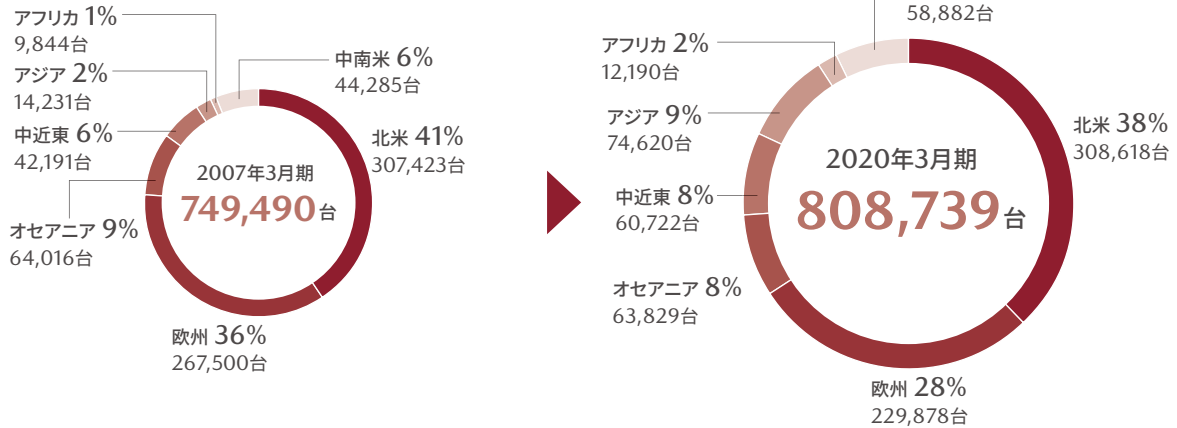
販売台数

202,359台



輸出台数

808,739台



研究開発拠点

地 域	名 称	所在地	主な研究内容
日 本	本社 研究開発部門	広島県安芸郡府中町	・商品、技術企画 ・デザイン開発 ・商品開発および育成 ・重要新技術の先行研究
	マツダR&Dセンター横浜 (略称：MRY)	神奈川県横浜市	・先行商品の企画 ・重要新技術の先行研究

総合自動車試験場

名 称	所在地	開 設	土地面積	主な研究内容
三次自動車試験場	広島県三次市	1965年6月	1,702千㎡	新商品の基本性能開発・育成の拠点として、クルマに要求される、走る・曲がる・止まるの走行テストを実施するとともに、大型の試験設備を駆使して、安全技術、環境技術の開発に取り組んでいます。
美祢自動車試験場	山口県美祢市	2006年5月	753千㎡	三次自動車試験場がないテストコースを新設し、操縦安定性の限界テスト等、車の商品性向上に寄与しています。
北海道剣淵試験場	北海道上川郡剣淵町	1990年1月	4,700千㎡	積雪路面での4WD・ABS・TCS※1・DSC※2など、安全走行システムの開発テストや、氷・雪害などに対する技術開発・商品性能向上等、寒冷地特有のテストを行っています。
北海道中札内試験場	北海道河西郡中札内村	2002年1月	260千㎡	さまざまな気象環境条件の下での、車両の性能を開発するための北海道内2番目の試験場です。主に、凍結路面でのABS・TCS・DSCなどの安全走行システムの開発テストを行っています。

※1 TCS(トラクションコントロールシステム)：路面、および走行状況に即応して駆動力を最適化する機構。
※2 DSC(ダイナミック・スタビリティ・コントロール)：4輪ABS(アンチロックブレーキシステム)とトラクションコントロールの機能を統合し、エンジン出力制御と4輪個別の制動力を最適に制御することによって、クルマの横滑り防止を図る機構である。滑りやすい路面でのコーナリングや、危険回避のための急ハンドル操作時などにも、安定した走行姿勢を保つ。

生産拠点概要

所在地	名 称	地 区	生産品目	生産能力	操業開始	土地面積
広島県安芸郡府中町	本社工場	本社	ガソリンレシプロエンジン、自動車用手動変速機		1931年 3月	551千㎡
		宇品第1(U1)工場	CX-30,CX-5、CX-8、CX-9※3、MX-30※4、ロードスター、ボンゴ※5、フィアット・クライスラー社向けスポーツカー※6	56.9万台／年	1966年11月	1,685千㎡
		宇品第2(U2)工場	CX-5		1972年12月	
広島県三次市	三次事業所		ガソリンレシプロエンジン、ディーゼルエンジン		1964年12月	
山口県防府市	防府工場		ガソリンレシプロエンジン		1974年 5月	1,702千㎡
		西浦	MAZDA2、MAZDA3、CX-3	41.6万台／年	1982年 9月	792千㎡
			MAZDA6、CX-5		1992年 2月	
		中関	自動車用手動変速機、自動変速機		1981年12月	537千㎡
プレス工業株式会社		尾道工場	ボンゴトラック			

(注) 本社地区には、本社周辺の所在地(刈崎地区)を含む。三次事業所は自動車試験場およびエンジン工場用地の合計。
※3 輸出用のみ
※4 2020年5月に生産開始
※5 2020年5月に生産終了
※6 2020年8月に生産終了

地域別の活動／日本（2020年3月31日時点）



本社工場



防府工場（西浦地区）

国内生産台数

国／地域名	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期
広島	475,590	535,032	456,327	423,521	461,831	498,740	509,229
防府	491,641	511,916	443,121	404,389	405,161	347,834	369,900
総計	967,231	1,046,948	899,448	827,910	866,992	846,574	879,129

国／地域名	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
広島	556,065	507,341	588,659	605,849	623,399	586,544	592,356
防府	416,468	412,064	400,742	358,791	363,463	423,616	379,618
総計	972,533	919,405	989,401	964,640	986,862	1,010,160	971,974

車種別国内生産台数（乗用車）

名 称	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期
MAZDA2	68,429	154,099	178,651	162,347	144,912	165,594	124,287
MAZDA3	390,331	417,885	349,717	357,393	363,327	317,899	291,181
プレマシー	122,995	104,175	83,208	74,858	81,282	89,180	57,585
MAZDA6	126,730	123,111	116,384	61,816	72,594	48,795	88,017
MPV	27,361	20,096	7,736	7,712	6,093	6,501	2,524
CX-3	－	－	－	－	－	－	－
CX-30	－	－	－	－	－	－	－
CX-5	－	－	－	－	－	46,699	226,606
CX-7	74,876	75,823	44,591	54,660	91,739	77,986	3,081
CX-8	－	－	－	－	－	－	－
CX-9	16,986	44,347	34,368	36,784	48,694	43,075	40,652
ロードスター	45,543	36,913	16,869	22,187	19,503	14,406	15,133
RX-8	18,872	10,047	7,658	3,465	2,019	1,716	1,224
ベリーサ	13,367	13,841	9,760	11,469	8,969	8,612	4,710
ビアンテ	－	－	15,402	10,946	11,182	10,562	8,626
その他	6,620	2,900	360	1,480	－	－	－
総 計	912,110	1,003,237	864,704	805,117	850,314	831,025	863,626

名 称	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
MAZDA2	104,195	100,347	69,694	52,258	51,759	53,902	41,528
MAZDA3	291,414	232,567	215,140	206,253	167,587	156,882	168,837
プレマシー	48,459	37,211	14,424	11,104	7,734	－	－
MAZDA6	143,162	143,610	139,163	122,231	85,187	93,219	75,024
MPV	1,615	788	631	1	－	－	－
CX-3	－	16,504	142,800	116,117	127,306	134,871	79,365
CX-30	－	－	－	－	－	－	84,933
CX-5	308,720	316,288	321,389	324,085	415,012	435,397	388,565
CX-7	500	－	－	－	－	－	－
CX-8	－	－	－	－	13,784	35,426	33,699
CX-9	31,921	37,893	22,378	54,725	54,164	59,251	63,552
ロードスター	10,778	10,008	44,239	63,874	50,723	29,364	25,204
RX-8	－	－	－	－	－	－	－
ベリーサ	3,548	1,248	663	－	－	－	－
ビアンテ	11,898	7,148	4,656	3,853	3,057	－	－
その他	－	－	－	－	－	－	－
総 計	956,210	903,612	975,177	954,501	976,313	998,312	960,707

車種別国内生産台数（商用車）

名 称	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期
ボンゴトラック	16,565	12,326	10,688	9,102	6,773	7,587	7,942
ボンゴバン	25,048	21,534	18,244	10,144	8,373	7,962	7,561
フローニートラック	1,353	62	97	－	－	－	－
フローニーバン	5,529	5,684	3,520	2,102	1,058	－	－
タイタン	220	120	－	－	－	－	－
タイタンダッシュ	6,406	3,985	2,195	1,445	474	－	－
総 計	55,121	43,711	34,744	22,793	16,678	15,549	15,503

名 称	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
ボンゴトラック	9,169	8,522	7,423	5,621	5,954	6,675	6,153
ボンゴバン	7,154	7,271	6,801	4,518	4,595	5,173	5,114
フローニートラック	－	－	－	－	－	－	－
フローニーバン	－	－	－	－	－	－	－
タイタン	－	－	－	－	－	－	－
タイタンダッシュ	－	－	－	－	－	－	－
総 計	16,323	15,793	14,224	10,139	10,549	11,848	11,267

国内販売台数

名 称	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期
乗用車	214,366	215,479	184,215	192,183	179,508	180,040	190,832
商用車	46,646	40,261	34,347	28,617	26,377	25,498	25,425
総計	261,012	255,740	218,562	220,800	205,885	205,538	216,257

名 称	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
乗用車	216,111	200,861	209,438	178,451	186,385	191,368	180,325
商用車	27,487	23,682	22,914	24,247	24,000	23,186	22,034
総計	243,598	224,543	232,352	202,698	210,385	214,554	202,359

販売会社数および店舗数

販売会社数	販売店舗数
212	946

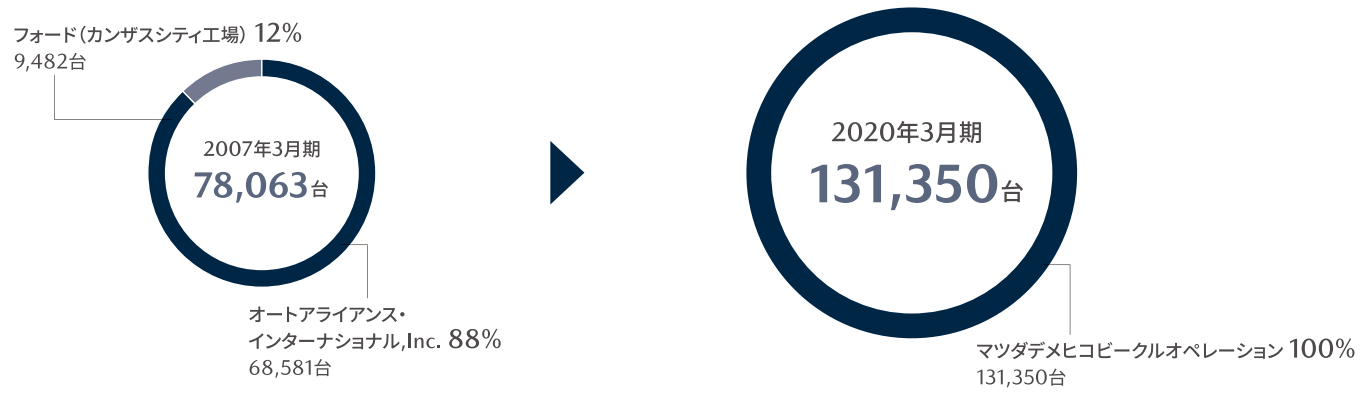
輸出台数

国／地域名	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期
北 米	307,423	279,568	235,917	240,184	284,204	278,911	342,833
欧州	267,500	315,118	284,462	218,844	208,927	173,928	165,842
オセアニア	64,016	74,928	70,568	76,602	70,532	90,660	97,586
中近東	42,191	59,692	62,914	41,481	56,275	22,746	21,228
アジア	14,231	20,609	32,135	31,367	45,893	35,323	31,958
アフリカ	9,844	15,944	11,532	8,988	7,235	4,420	4,429
中南米	44,285	59,294	45,043	31,794	49,399	47,859	38,700
総 計	749,490	825,153	742,571	649,260	722,465	653,847	702,576

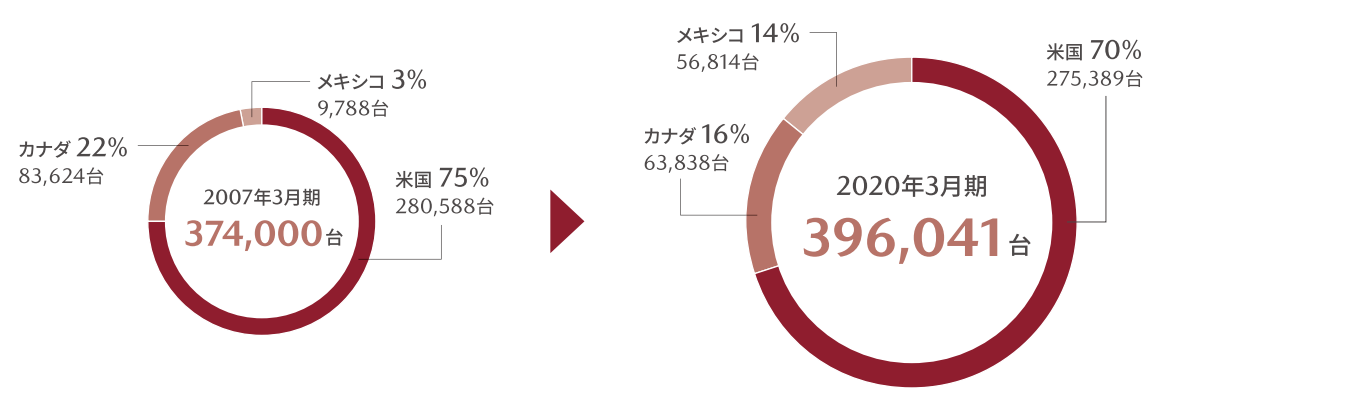
国／地域名	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
北 米	345,138	296,023	312,981	301,649	303,487	295,516	308,618
欧州	203,144	200,036	200,458	209,490	213,736	230,249	229,878
オセアニア	97,871	86,801	91,221	82,256	83,048	80,510	63,829
中近東	34,541	50,438	53,344	44,140	45,979	47,839	60,722
アジア	44,116	50,034	63,887	81,224	78,610	85,766	74,620
アフリカ	4,682	7,872	10,798	13,038	13,974	14,169	12,190
中南米	61,308	46,665	54,487	76,327	82,288	81,843	58,882
総 計	790,800	737,869	787,176	808,124	821,122	835,892	808,739

地域別の活動／北米（2020年3月31日時点）

生産台数



販売台数



統括拠点

国／地域名	名 称	所在地	設立時期	従業員数	主な業務内容	資本構成
米 国	マツダノースアメリカンオペレーションズ Mazda North American Operations (略称:MNAO)※	カリフォルニア州 アーバイン	1997年10月	－	自動車・部品の卸売販売、北米市場における技術動向などの調査・研究、デザインの開発、商品適合性評価	－

※「マツダモーターオブアメリカ,Inc.」「マツダモートルデメヒコS. de R.L de C.V.」を総称して「マツダノースアメリカンオペレーションズ(MNAO)」と呼んでいる

研究開発拠点

国／地域名	名 称	所在地	主な研究内容
米 国	マツダノースアメリカンオペレーションズ Mazda North American Operations (略称:MNAO)※	カリフォルニア州アーバイン ミシガン州フラットロック	・北米市場における技術／市場動向などの調査、研究 ・北米市場におけるデザインの開発 ・北米市場における商品適合性評価

※「マツダモーターオブアメリカ,Inc.」「マツダモートルデメヒコS. de R.L de C.V.」を総称して「マツダノースアメリカンオペレーションズ(MNAO)」と呼んでいる



マツダデメヒコビークルオペレーション (MMVO) 外観



マツダノースアメリカンオペレーションズ (MNAO) 外観

生産拠点

国／地域名	名 称	所在地	マツダ車 生産開始時期	従業員数	主な生産車種	資本構成
メキシコ	マツダデメヒコビークルオペレーション Mazda de Mexico Vehicle Operation (略称:MMVO) ※	グアナファト州 サラマンカ	2014年1月	5,200名	MAZDA2、MAZDA3、 CX-30、トヨタ社向けOEM車両	マツダ 75% 住友商事 25%

※「マツダモートルマヌファクトゥリングデメヒコS.A. de C.V.」および「マツダモートルオペラシオネスデメヒコS.A. de C.V.」の総称

MMVO沿革

2011	2014	2015	2017	2018	2019
9月 住友商事株式会社と合併で MMVOを設立 10月 起工式を実施	1月 「MAZDA3」 生産開始 2月 開所式を実施 7月 2直操業開始	10月 ・「MAZDA2」 生産開始 ・エンジン機械加工工場の 稼働を開始 ・2016年3月期までに 年間生産能力を25万台に 増強することを発表	4月 SKYACTIV-G2.0／ SKYACTIV-G1.5／ 「SKYACTIV-D1.5」の 生産開始 6月 トヨタ社向け小型車両の 生産開始	1月 「SKYACTIV-G2.5」 の生産開始	5月 「MAZDA2 (セダン)」の 生産開始 1月 新型 「MAZDA3」 生産開始 9月 「CX-30」 生産開始

生産台数

国／地域名	名 称	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期
米 国	オートアライアンス・インターナショナル,Inc.	68,581	55,784	56,080	39,152	44,875	47,101	19,101
	フォード(カンザスシティ工場)	9,482	22,628	10,846	10,129	7,725	1,523	－
メキシコ	マツダデメヒコビークルオペレーション	－	－	－	－	－	－	－

国／地域名	名 称	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
米 国	オートアライアンス・インターナショナル,Inc.	－	－	－	－	－	－	－
	フォード(カンザスシティ工場)	－	－	－	－	－	－	－
メキシコ	マツダデメヒコビークルオペレーション	10,007	140,089	213,088	195,148	180,445	168,694	131,350

※海外生産はマツダブランド車のラインオフベース（CKDを除く）。但しメキシコは、他社ブランドの乗用車を含む

販売拠点

国／地域名	名 称	所在地	設立時期	従業員数	資本構成
米 国	マツダモーターオブアメリカ, Inc. Mazda Motor of America, Inc.	カリフォルニア州アーバイン	1971年 2月	892名	マツダ 100%
カナダ	マツダカナダ, Inc. Mazda Canada, Inc.	オンタリオ州リッチモンドヒル	1968年 7月	181名	マツダ 100%
メキシコ	マツダデメヒコ セールスアンドコマーシャルオペレーション Mazda de Mexico Sales & Commaercial Operation※	メキシコシティ	2004年12月	92名	マツダ 100%

※「マツダモートルデメヒコS de R.L de C.V.」および「マツダセルヴィンシオスデメヒコS de R.L de C.V.」の総称

市場および販売会社数

市 場	市場数	販売会社数	販売店舗数
米 国	1	1	554
カナダ	1	1	164
メキシコ	1	1	60

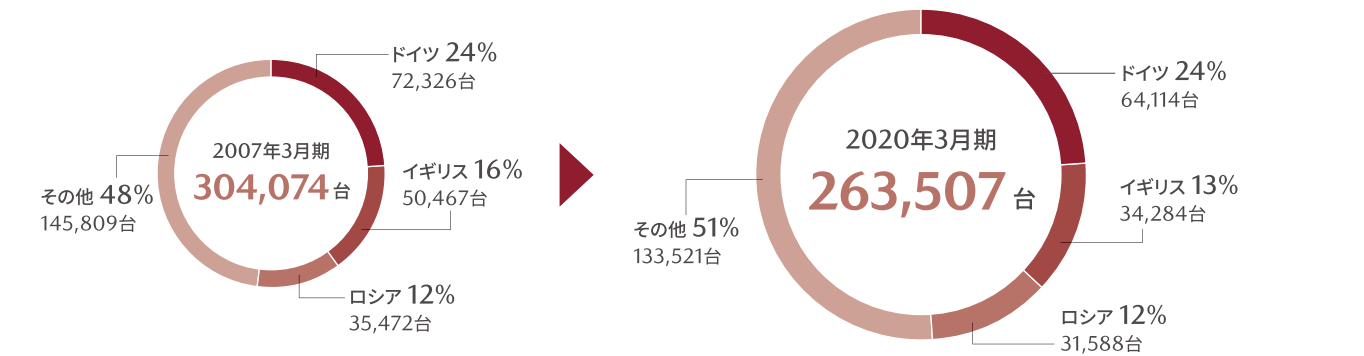
販売台数

市 場	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期
米 国	280,588	294,725	240,055	209,913	238,184	267,891	273,307
カナダ	83,624	88,507	81,253	75,048	75,055	71,783	72,136
メキシコ	9,788	18,011	22,303	18,894	26,473	30,071	25,283

市 場	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
米 国	283,721	305,788	305,783	302,195	304,394	287,163	275,389
カナダ	69,685	71,582	71,032	71,323	74,658	71,613	63,838
メキシコ	34,759	45,366	58,917	53,448	54,744	61,084	56,814

地域別の活動／欧州（2020年3月31日時点）

販売台数



統括拠点

国／地域名	名 称	所在地	設立時期	従業員数	主な業務内容	資本構成
ドイツ	マツダモーターヨーロッパGmbH Mazda Motor Europe GmbH (略称:MME) (European R&D Centre)	ノルトラインウエスト ファーレン州レバークーゼン	1998年3月	347名	事業所 販売	マツダモーター ロジスティクス ヨーロッパN.V. 100%
		ヘッセン州オーバーウァゼル	1987年12月		研究開発	
ベルギー	マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. Mazda Motor Logistics Europe N.V. (Vehicles and Parts Distribution Center)	アントワープ州ウィルブローク	1998年8月	359名	事業所 物流、販売	マツダ 100%

研究開発拠点

国／地域名	名 称	所在地	主な研究内容
ドイツ	マツダモーターヨーロッパGmbH Mazda Motor Europe GmbH (略称:MME)	ヘッセン州 オーバーウァゼル	・欧州市場における技術／市場動向などの調査、研究 ・欧州市場におけるデザインの開発 ・欧州市場における商品適合性評価

生産拠点

国／地域名	名 称	所在地	マツダ車 生産開始時期	従業員数	主な生産車種	資本構成
ロシア※1	マツダソラーズマヌファクトゥリングルース MAZDA SOLLERS Manufacturing Rus (略称: MSMR)	プリモリスキー州 ウラジオストク	2012年10月	581名	CX-5、CX-9、 MAZDA6	マツダ 50% ソラーズ 50%

※1 現地組立のみ(生産台数は公表対象外)

生産台数

国／地域名	名 称	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期
スペイン	フォード(バレンシア工場)	29,026	5,708	—	—	—	—	—
国／地域名	名 称	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
スペイン	フォード(バレンシア工場)	—	—	—	—	—	—	—

※海外生産はマツダブランド車のラインオフベース(CKDを除く)



マツダヨーロッパGmbH(MME) 外観

販売拠点

国／地域名	名 称	所在地	設立時期	従業員数	資本構成
ドイツ	マツダモーターズ(ドイツランド) GmbH Mazda Motors (Deutschland) GmbH	ノルトラインウエスト ファーレン州レバークーゼン	1972年11月	180名	マツダ 75%、 マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 25%
オーストリア	マツダオーストリアGmbH Mazda Austria GmbH	クラウゲンフルト	1981年 7月	120名	マツダ 75%、 マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 25%
ポルトガル	マツダモートルデポルトガルLda. Mazda Motor de Portugal Lda.	リスボン	1995年 2月	16名	マツダ 75%、 マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 25%
イタリア	マツダモーターイタリア,S.p.A. Mazda Motor Italia S.p.A.	ローマ	1999年12月	50名	マツダ 75%、 マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 25%
スペイン	マツダオートモービルズエスパーニャ,S.A. Mazda Automoviles Espana, S.A.	マドリッド	2000年 2月	58名	マツダ 75%、 マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 25%
フランス	マツダオートモビルフランスS.A.S Mazda Automobiles France S.A.S	イヴリーヌ県 サン・ジェルマン・アン・レイ	2001年 2月	52名	マツダ 75%、 マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 25%
スイス	マツダスイスS.A. Mazda (Suisse) S.A.	ブチランシー	2001年 2月	46名	マツダ 75%、 マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 25%
イギリス	マツダモーターズ UK Ltd. Mazda Motors UK Ltd.	ケント州ダートフォード	2001年 5月	132名	マツダ 75%、 マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 25%
デンマーク	マツダモーターデンマーク Mazda Motor Denmark	レズオウア	2003年 4月	19名	マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 支店
ノルウェー	マツダモーターノルウェー Mazda Motor Norge	コルボン	2004年 4月	17名	マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 支店
スウェーデン	マツダモーターズスウェーデン Mazda Motor Sweden	クングスバックカ	2004年 4月	16名	マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 支店
ロシア	マツダモーターロシア, OOO Mazda Motor Rus , OOO	モスクワ	2005年12月	92名	マツダ 100%
アイルランド	マツダモーターアイルランド Mazda Motor Ireland	ダブリン	2006年 7月	10名	マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 支店
チェコ	マツダモーターチェコ Mazda Motor Czech	ブラハ	2006年10月	16名	マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 支店
スロバキア	マツダモーターズスロバキア Mazda Motor Slovakia	ブラチスラバ	2006年10月	6名	マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 支店
ベルギー・ ルクセンブルク	マツダモーターベラックス Mazda Motor Belux	ウィルブローク	2007年 4月	39名	マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 支店
ハンガリー	マツダモーターハンガリー Mazda Motor Hungary Kft	ブダペスト	2008年 4月	13名	マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 100%
クロアチア	マツダモータークロアチア Mazda Motor Croatia d.o.o.	ザグレブ	2008年 4月	12名	マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 100%
スロベニア	マツダモーターズスロベニア Mazda Motor Slovenija d.o.o.	リュブリャナ	2008年 4月	8名	マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 100%
ポーランド	マツダモーターポーランド Mazda Motor Poland Co., Ltd.	ワルシャワ	2008年 5月	32名	マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 支店
トルコ	マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. メルケジ・ベルチカ・トルキエ・イスタンブル・シュベシ Mazda Motor Logistics Europe N.V. Merkezi Belcika Türkiye Istanbul Subesi	イスタンブール	2008年 6月	6名	マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 支店
オランダ	マツダモーターネーデルランド Mazda Motor Nederland	ワディンクスフェーン	2008年10月	34名	マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 支店

市場および販売会社数

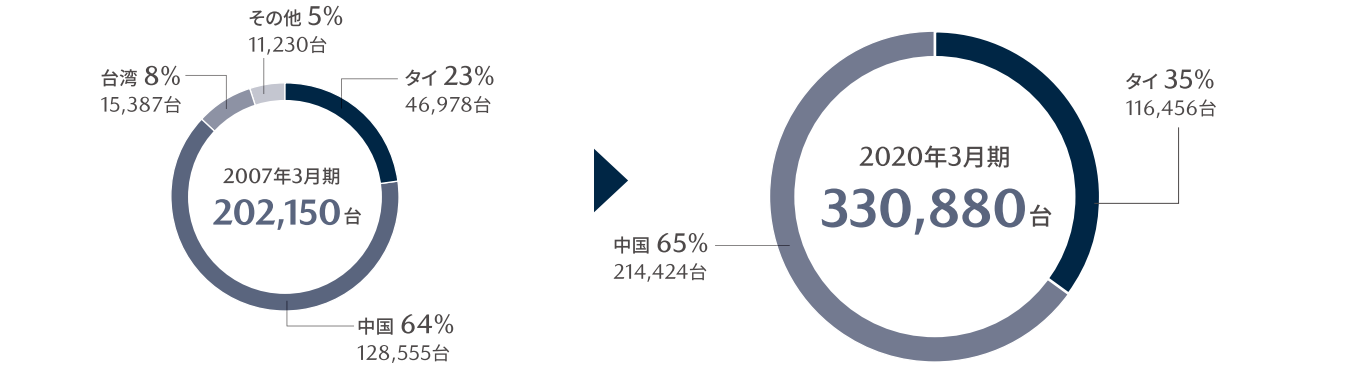
市 場	市場数	販売会社数	販売店舗数
欧 州	42	30	1,978

販売台数

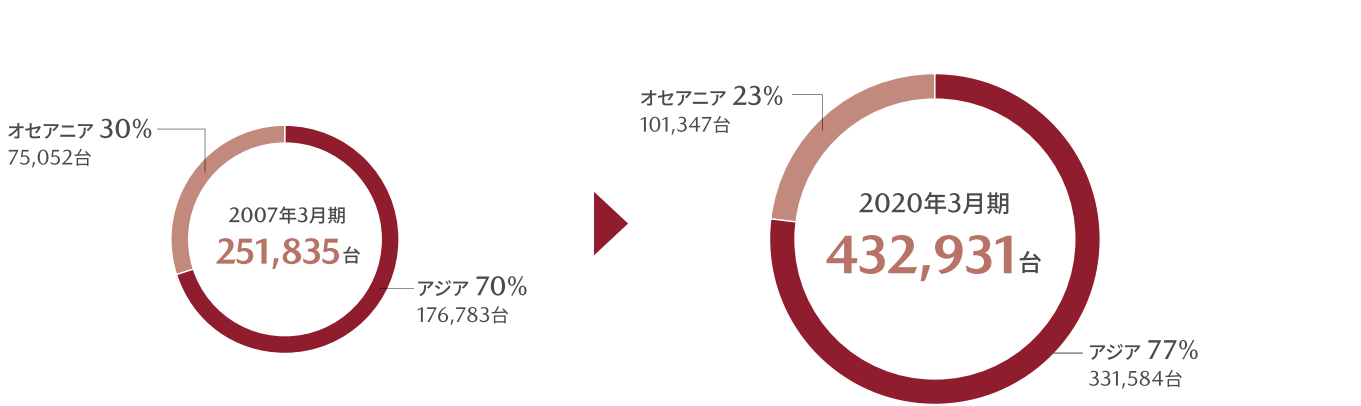
市 場	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期
ドイツ	72,326	66,160	57,289	50,492	47,978	41,114	39,628
イギリス	50,467	53,162	46,228	51,083	41,246	30,438	25,601
ロシア	35,472	57,675	69,994	22,447	29,008	43,561	42,163
その他	145,809	149,589	148,134	114,882	93,256	67,572	64,148
市 場	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
ドイツ	47,430	51,442	59,961	62,994	68,167	67,377	64,114
イギリス	34,612	40,017	47,997	44,552	38,091	38,512	34,284
ロシア	44,164	46,349	24,657	22,235	26,629	32,303	31,588
その他	80,518	91,325	123,901	131,769	135,694	131,586	133,521

地域別の活動／アジア・大洋州（2020年3月31日時点）

生産台数



販売台数



統括拠点および会社

国／地域名	名 称	所在地	設立時期	従業員数	主な業務内容	資本構成
タイ	マツダサウスイーストアジアリミテッド Mazda South East Asia, Ltd. (略称:MSEA)	バンコク	2005年 8月	—	ASEAN市場の事業統括	マツダ 100%
中国	マツダ(中国)企業管理有限公司 Mazda Motor (China) Co., Ltd. (略称:MCO)	上海市 浦東新区	2005年 1月	99名	中国市場の事業統括	マツダ 100%
	マツダ(中国)企業管理有限公司 北京分公司 Mazda Motor (China) Co., Ltd. Beijing Branch (略称:MCO-Beijing)	北京市 朝陽区	2007年 11月		MCO支社	—
	マツダ(中国)企業管理有限公司 中国技術支援センター Mazda Motor (China) Co., Ltd. China Engineering Support Center (略称:MCO-CESC)	上海市 嘉定区	2005年 8月		MCO支社・事務所・ワーク ショップ 技術動向などの調査、研究、 およびR&D、購買、品質、 サービス領域の技術支援	—

研究開発拠点

国／地域名	名 称	所在地	主な研究内容
中国	マツダ(中国)企業管理有限公司 中国技術支援センター (略称: MCO-CESC)	上海市	・中国市場における技術／市場動向などの調査、研究

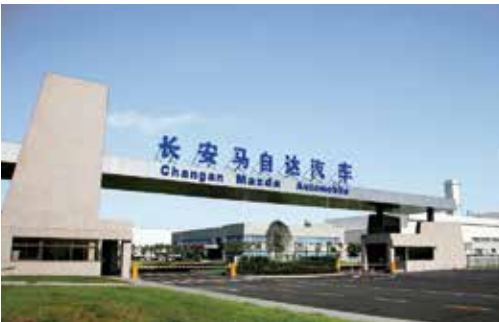
生産拠点

国／地域名	名 称	所在地	マツダ車 生産開始時期	従業員数	主な生産車種	資本構成
タイ	オートアライアンス(タイランド) Co., Ltd. Auto Alliance (Thailand) Co., Ltd. (略称:AAT)	ラヨーン県イースタン・ シーボード工業団地	1998年 5月 (1995年11月設立)	6,438名	MAZDA2, MAZDA3, CX-3, CX-30, BT-50	マツダ 50% フォード 50%
	マツダパワートレインマニファクチャリング (タイランド) Co., Ltd. Mazda Powertrain Manufacturing (Thailand) Co., Ltd. (略称:MPMT)	チョンブリ県	2015年 1月	1,014名	自動車用トランス ミッション、 エンジン	マツダ 100%
中国	一汽乘用车有限公司※1 FAW Car Co., Ltd. (略称:FCC)	吉林省 长春市	2003年 3月	—	MAZDA6、 CX-4	現地 100%
	長安マツダ汽车有限公司 Changan Mazda Automobile Co., Ltd. (略称:CMA)	江蘇省 南京市	2007年10月	3,027名	MAZDA3、 CX-30※4、 CX-5、CX-8	長安汽車 50% マツダ 50%
	長安マツダエンジン有限公司 Changan Mazda Engine Co., Ltd. (略称:CME)	江蘇省 南京市	2007年 4月 (2005年9月設立)	1,070名	自動車用エンジン	長安汽車 50% マツダ 50%
ベトナム※2	タコマツダ オートモービル マニファクチャリングカンパニー Thaco Mazda Automobile Manufacturing Company	クアンナム省 ヌイタン地区	2011年10月	—	MAZDA3, MAZDA6, CX-5, CX-8	現地 100%
マレーシア※2	マツダマレーシアSdn. Bhd. Mazda Malaysia Sdn. Bhd. (略称:MMSB)	スランゴール州 シャアラム	2012年 9月設立※3	138名	CX-5、CX-8	マツダ 70% 現 地 30%

※1 2020年6月「中国第一汽車股份有限公司 (FAW)」に変更 ※2 現地組立のみ(生産台数は公表対象外) ※3 2018年5月新工場設立 ※4 2020年4月に生産開始



オートアライアンス(タイランド)



長安マツダ汽車

AAT沿革

1995	1998	2000	2005	2006	2007	2009
11月 設立	5月 マツダファイター (Bシリーズ) の生産開始 12月 輸出開始	8月 BUユニット 10万台達成	5月 BUユニット 50万台達成	2月 初代 「BT-50」の生産開始	7月 累計生産 100万台達成	7月 乗用車工場開所式 9月 「MAZDA2」生産開始

2010	2011	2012	2014	2015
8月 ピックアップトラック工場に 3億5,000万米ドルの 投資することを発表	2月 2代目「MAZDA3」生産開始 5月 2代目「BT-50」生産開始	5月 ピックアップトラック工場の 生産能力増強	2月 3代目「MAZDA3」生産開始	10月 「CX-3」の生産開始

2019
5月 新型「MAZDA3」の生産開始 11月 「CX-30」の生産開始

FCC沿革

2003	2014	2016
4月 初代「MAZDA6」を 生産開始	4月 「MAZDA6 Atenza」生産開始	3月 「CX-4」生産開始

地域別の活動／アジア・大洋州

(2020年3月31日時点)

CMA沿革

2001		2005		2006					
4月 長安汽車とフォードが 「長安フォード汽車 (CAF)」を設立		1月 ・CAFの第2工場として南京車両生産工場建設について政府承認取得。 ・マツダはCAFに出資することでプロジェクトに参画することを表明		2月 CAF重慶工場で「MAZDA3」の生産開始 3月 ・マツダがCAFに出資し、3社による合併会社となる ・資本比率は長安汽車 (50%)、フォード (35%)、マツダ (15%) ・新会社名は、「長安フォードマツダ汽車有限公司 (CFMA)」となる					
2007		2008		2010		2011			
9月 CFMA南京工場竣工式 10月 CFMA南京工場で 「MAZDA2」の生産開始		2月 CFMA増資 (資本金:2億9,344万ドル→3億5,144万ドル)		5月 重慶工場で生産していた 「MAZDA3」を南京工場に移管		8月 ・CFMA南京工場生産能力増強 ・2代目「MAZDA2」の生産開始			
2012		2013		2014		2018		2019	
11月 「長安マツダ汽車有限公司 (CMA)」設立		6月 「CX-5」生産開始		4月 「MAZDA3 Axela」生産開始		4月 「CX-8」生産開始		8月 新型「MAZDA3」生産開始	

生産台数

国／地域名	名 称	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期
タ イ	オートアライアンス(タイランド)	46,978	52,977	38,711	39,775	95,657	76,185	120,746
	一汽乗用車有限公司 (FCC) ※1							
中 国	長安マツダ汽車有限公司 (CMA)	128,555	107,956	105,998	198,725	240,301	196,885	157,934
台 湾	福特六和汽車股份公司	15,387	12,483	4,937	12,485	3,521	3,571	4,348
ベトナム	タコマツダオートモービルマニュファクチャリングカンパニー	420	—	—	—	—	288	173
その他		10,810	285	200	140	—	—	—
国／地域名	名 称	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
タ イ	オートアライアンス(タイランド)	77,351	84,540	126,378	134,770	133,188	141,246	116,456
	一汽乗用車有限公司 (FCC) ※1							
中 国	長安マツダ汽車有限公司 (CMA)	190,555	215,262	234,821	292,181	316,973	248,872	214,424
台 湾	福特六和汽車股份公司	6,089	5,454	2,234	238	—	—	—
ベトナム	タコマツダオートモービルマニュファクチャリングカンパニー	720	800	2,676	4,831	2,064	693	—
その他		—	—	—	—	—	—	—

※海外生産はマツダブランド車のラインオフベース (CKDを除く)
※1 2020年6月「中国第一汽車股份有限公司 (FAW)」に変更

販売拠点

国／地域名	名 称	所在地	設立時期	従業員数	資本構成
タ イ	マツダセールス(タイランド) Co., Ltd. Mazda Sales (Thailand) Co., Ltd.	バンコク	1990年 6月	187名	マツダ 96.1% KKS 3.9%
	一汽マツダ汽車販売有限公司 FAW Mazda Motor Sales Co., Ltd.	吉林省 长春市	2005年 3月	284名	一汽乗用車 56% マツダ 40% 第一汽車集団 4%
中 国	長安マツダ汽車販売分公司 Changan Mazda Automobile Corporation, Ltd.	江蘇省 南京市	2007年 4月	251名	長安マツダ汽車 有限公司の 販売部門
台 湾	台湾マツダ汽車股份有限公司 Mazda Motor Taiwan Co., Ltd.	台北市	2013年12月	56名	マツダ 100%
オーストラリア	マツダオーストラリアPty Ltd. Mazda Australia Pty Ltd.	ビクトリア州 マウントウエイバリー	1967年 4月	321名	マツダ 100%
ニュージーランド	マツダモータースオブニュージーランドLtd. Mazda Motors of New Zealand Ltd.	オークランド市 マウントウエリントン	1972年 6月	44名	マツダ 100%

市場および販売会社数

地 域	市場数	販売会社数	販売店舗数
アジア	15	17	338
オセアニア	14	14	191
中 国	1	2	478
台 湾	1	1	40

販売台数

市 場	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期
中国	129,128	101,005	134,564	196,166	235,800	222,635	174,687
台湾	20,386	14,970	9,151	13,192	16,207	15,477	12,342
その他アジア	27,269	25,400	19,929	27,878	56,183	67,040	102,677
オセアニア	75,052	87,799	85,386	86,699	93,797	98,849	111,282
市 場	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
中国	196,483	214,628	235,024	291,688	322,420	247,339	211,634
台湾	14,524	15,389	21,579	22,997	23,046	21,710	16,003
その他アジア	75,583	77,853	102,319	105,933	117,436	137,572	103,947
オセアニア	112,608	111,650	128,188	131,247	129,540	123,752	101,347

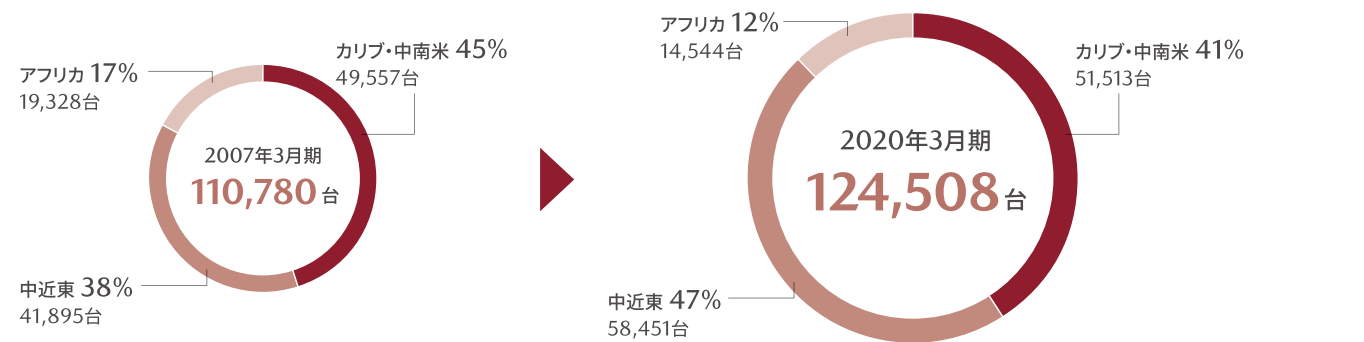
2020年3月期 販売台数

アジア		大洋州	
中 国	211,634台	オーストラリア	90,020台
台 湾	16,003台	その他	11,327台
タ イ	51,702台		
その他アジア	52,245台		

地域別の活動／カリブ・中南米・中近東・アフリカ（2020年3月31日時点）

販売台数

124,508 台



生産台数

国／地域名	名 称	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期
南アフリカ	フォードモーターカンパニーオブサザンアフリカPty,Ltd.	6,457	6,214	4,135	3,917	3,690	2,951	3,098
ジンバブエ	ウィローベールマツダモーターインダストリーズ	1,182	1,517	1,468	684	337	813	246
コロンビア	コンパニア コロンビアナ アウトモトリスS.A.(CCA)	4,109	6,173	3,316	3,727	5,018	3,223	3,905
エクアドル	マレサ	5,976	6,448	9,016	6,860	9,378	6,108	11,334
その他		11,396	—	—	—	—	—	—

国／地域名	名 称	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
南アフリカ	フォードモーターカンパニーオブサザンアフリカPty,Ltd.	3,154	2,283	932	—	—	—	—
ジンバブエ	ウィローベールマツダモーターインダストリーズ	1	—	—	—	—	—	—
コロンビア	コンパニア コロンビアナ アウトモトリスS.A.(CCA)	2,044	351	—	—	—	—	—
エクアドル	マレサ	6,842	6,879	1,684	—	—	—	—
その他		—	—	—	—	—	—	—

※海外生産はマツダブランド車のラインオフベース（CKDを除く）



マツダサザンアフリカ本社



コロンビアの首都ボゴタ市内の新世代店舗

販売拠点

国／地域名	名 称	所在地	設立時期	従業員数	資本構成
コロンビア	マツダデコロンビアS.A.S Mazda de Colombia S.A.S (略称:MCOL)	ボゴタ	2014年 5月	65名	マツダ 100%
南アフリカ	マツダサザンアフリカ(Pty) Ltd Mazda Southern Africa (Pty) Ltd (略称:MSA)	ミッドランド	2013年 7月	41名	マツダ 70% 伊藤忠商事 30%

市場および販売会社数

地 域	市場数	販売会社数	販売店舗数
カリブ・中南米※	36	35	214
中近東	13	13	80
アフリカ	39	25	121

※ メキシコを除く。

販売台数

市 場	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期
カリブ・中南米	49,557	61,731	47,802	33,752	43,464	38,401	35,311
中近東	41,895	64,163	56,965	55,659	54,078	33,410	29,852
アフリカ	19,328	23,929	22,969	16,508	15,582	12,595	9,824

市 場	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
カリブ・中南米	42,342	44,922	48,671	49,691	54,232	58,086	51,513
中近東	39,408	44,690	54,742	48,635	53,087	50,084	58,451
アフリカ	11,494	11,750	18,935	17,607	18,242	18,774	14,544

2020年3月期 販売台数

カリブ・中南米		中近東		アフリカ	
チリ	15,266台	サウジアラビア	38,164台	南アフリカ	11,412台
コロンビア	20,327台	イスラエル	9,513台	その他	3,132台
その他	15,920台	その他	10,774台		

経営

1920年 1月 東洋コルク工業株式会社として創立
2月 初代社長に海塚新八が就任
6月 本社と工場を広島市中島新町から吉島町へ移転

1921年 3月 2代目社長に松田重次郎が就任

1922年 12月 大阪出張所を設置

1924年 2月 東京出張所を設置

1925年 12月 工場火災により工場設備の70%余りを焼失、操業停止に

1927年 9月 東洋工業株式会社に社名を変更

1931年 5月 本社を安芸郡府中村字新地に移転登記
7月 三菱商事と三輪トラック等に関する一手販売契約を締結

1934年 3月 "Mazda"を商標登録

1935年 11月 名古屋出張所を設置

1936年 4月 三輪トラックによる鹿児島-東京間宣伝キャラバンを実施
8月 国内での三菱商事との販売契約を解除

1938年 1月 軍需工業動員法により陸海軍共同管理工場に指定される

1941年 2月 商工省より戦時標準型三輪トラックの試作命令を受ける
4月 小銃工場が竣工

1943年 1月 生産機器（さく岩機）、工作機械の製造事業許可会社となる

1944年 1月 兵器および工作機械部門、陸・海・軍需各大臣より軍需会社に指定される
4月 さく岩機、航空機発動機部品および自動車部門、軍需会社に追加指定される
7月 内山コルク工業所と共同出資で東洋コルク株式会社を設立



松田重次郎社長

1945年 8月 原子爆弾により広島市内で建物疎開作業中の従業員約200名が被爆
8月 軍需会社指定の取り消し。建物の一部を広島県に貸与し県庁の全機構が当社へ
11月 三輪トラック、さく岩機、工具などの民需転換が認可される

1946年 2月 東洋工業労働組合が結成される

1949年 10月 1県1特約店の設置が完了

1951年 12月 3代目社長に松田恒次が就任、会長に松田重次郎が就任

1952年 4月 工場の賠償指定が解除される

1954年 4月 第1回全日本自動車ショウに出品
9月 アクメレジン社とレジンコーテッドサンドの製造技術について提携

1955年 12月 連続ガス浸炭炉の火入式を実施

1956年 6月 シェルモールド法による鋳物の量産体制を確立

1958年 6月 静岡県地区の新鍛造工場で火入式を実施
11月 フォーニア・インスティテュート・オブ・テクノロジー社と液状レジン、シェルモールドおよびコア製造について技術提携

1959年 6月 カナディアン・ニッケル・プロダクツ社とダクタイル鋳鉄の製造技術について技術提携
7月 「m」を図案化した新マークを採用
8月 静岡県地区の新・さく岩機工場が完成
9月 レジン製造工場が完成し、コーテッドサンドを完全国産化



1920

1945

1960

1966

商品

1922年 7月 圧搾コルク版の生産を開始

1929年 4月 工作機械の生産を開始
11月 単車用2サイクル250ccエンジンの試作完了

1930年 10月 単車が広島市の招魂祭のオートレースで優勝

1931年 10月 三輪トラック「マツダ号」（DA型）の生産を開始

1932年 大連、奉天、青島へ三輪トラックを初輸出

1934年 1月 「DC型」三輪トラックを発売、工作機械と空気圧縮機を生産を開始

1935年 10月 さく岩機を長津江水電（朝鮮）に初出荷
10月 ゲージブロックの製造販売を開始
12月 「KC36型」三輪トラックを発売

1938年 5月 「GA型」三輪トラック（グリーンパネル）を発売

1939年 2月 軍用九七式側車付二輪車の生産を開始

1940年 5月 小型四輪乗用車の試作車が完成



三輪トラック「マツダ号」（DA型）

1945年 12月 三輪トラックの生産を再開

1946年 1月 さく岩機、工具類の生産を再開

1949年 4月 「GB型」三輪トラックを発売
8月 三輪トラックの輸出を再開（インド向け）

1950年 4月 「PB型」三輪乗用車を発売
5月 完全自社開発のさく岩機「TY24ジャックハンマー」「TY44ライトドリフター」などを発売
6月 1トン積み「CA型」四輪トラック発売
9月 1トン積み「CT型」三輪トラック発売

1952年 10月 2トン積み「CTL1型」で広島〜東京間をノンストップ走破

1955年 11月 日本初のレッドグリル「TY24-LD」の生産を開始
12月 シェルモールド鋳造用「トーヨーコーテッドサンド」を発売

1957年 8月 丸ハンドルの2トン積み「HBR型」三輪トラックを発売
10月 トランスファーマシン1号機を設置
11月 丸ハンドルの1トン積み「MAR型」三輪トラックを発売

1958年 4月 小型四輪トラック「ロンパー」を発売

1959年 3月 水冷エンジン搭載の小型四輪トラック「D1100」「D1500」を発売
5月 軽三輪トラック「K360」を発売
6月 小型三輪トラック「T600」を発売
10月 水冷エンジン搭載の小型三輪トラック「T1100」「T1500」を発売



「CT型三輪トラック」



「K360」

1960年 4月 月産2万台の新・塗装組立工場（F工場）で始業式を実施
10月 新・シェルモールド鋳造工場が本格稼働を開始

1961年 4月 韓国で現地組立を開始
6月 副社長制を採用し、松田耕平が就任
6月 新しい東洋工業附属病院が完成
7月 NSU社／バンケル社とのロータリーエンジンに関する技術援助契約が政府承認
10月 フィリピンで現地組立を開始
12月 収容能力5,000台の本社配車センターが完成

1962年 3月 乗用車設計技術に関しカロッツェリア・ベルトーネ社と技術提携
6月 東京事務所が東京支社に昇格
9月 ビルマ政府およびビルマ国際交易公社と自動車製造についての技術協力契約を締結

1963年 3月 ビルマで現地組立を開始
4月 大阪事務所が大阪支社に昇格
6月 クライスラー社と粉末冶金技術に関し技術提携
6月 南アフリカで現地組立を開始

1964年 3月 自動車船積み専用の新埠頭が完成
10月 日本初の完全自走方式のマツダ専用船「東洋丸」が就航

1965年 1月 パーキンス社とディーゼルエンジンに関し技術提携
5月 三次自動車試験場の竣工式を実施
10月 東洋大橋および専用道路の開通式を実施



東洋大橋開通式

1960年 5月 軽乗用車「R360クーベ」を発売

1961年 2月 軽四輪トラック「B360」を発売
5月 軽商用車「B360ライトバン」を発売
8月 小型四輪トラック「B1500」を発売

1962年 2月 軽乗用車「キャロル」を発売
4月 2トン積みの四輪トラック「D2000」と三輪トラック「T2000」を発売
9月 小型商用車「B1500バン」を発売
11月 小型乗用車「キャロル600」を発売
12月 年間生産台数が3年連続で国内自動車メーカー1位に

1963年 10月 小型商用車「ファミリア800バン」を発売

1964年 1月 2トン積みトラック「E2000」を発売
9月 第11回東京モーターショーにロータリーエンジン搭載スポーツカー「コスモ」を参考出品
10月 小型乗用車「ファミリア800セダン」を発売

1965年 5月 3.5トン積み中型トラック「E2300」を発売
5月 25人乗り小型バス「ライトバス」を発売
6月 1.5トン積みトラック「クラフト」を発売
10月 1トン積みトラック「プロシード」を発売



「R360クーベ」



「キャロル」

1966年 11月 乗用車専用の宇品第1（U1）工場で始業式を実施

1967年 3月 欧州への本格輸出を開始
4月 オーストラリアに販売会社「マツダモーターズ」を設立

1968年 6月 フォード社、モービル社などIIECグループと排出ガス制御に関する共同研究を開始
7月 カナダに販売会社「マツダモーターズオブカナダ」を設立
8月 ベルギーに補修部品供給会社「マツダモーターズオブベネルックス」を設立
9月 マレーシアの合併会社で乗用車の現地生産を開始

1969年 2月 オンライン・リアルタイム処理で排気ガスの自動分析を行う日本初のシステムが稼働

1970年 1月 フォード社、日産自動車（株）と合併で日本自動変速機株式会社（JATCO）を設立
1月 米国販売会社「マツダモーターズオブアメリカ（NW）」を設立
11月 4代目社長に松田耕平が就任

1971年 1月 米国最大の販売会社「マツダモーターオブアメリカ（MMA）」を設立
2月 インドネシアで現地組立を開始

1972年 1月 第1輸配車センターが完成
9月 ロータリーエンジン用の公害対策システム「マツダREAPS」が完成
10月 「マツダトレーニングセンター 鯛尾」が完成
11月 アメリカに「マツダ・テクニカル・センター」を設立
12月 乗用車専用の宇品第2（U2）工場で竣工式を実施、月産6万台体制を確立



「コスモスポーツ」

経営

- 1973年

10月

レシプロエンジン用の公害対策システム「マツダCEAPS」が完成
- 1974年

1月

フィリピンで現地組立を開始
- 5月

三次ディーゼルエンジン工場が完成
- 1975年

1月

国内販売会社への出向「AM派遣」を開始
- 1月

タイで現地生産を開始
- 2月

アメリカでの販売組織を再編して3社体制に
- 4月

CIシステムの導入を開始、企業シンボルを採用



企業シンボル

- 1977年

12月

5代目社長に山崎芳樹が就任
- 1978年

3月

国内販売会社への「SE出向」を開始
- 1979年

11月

フォード社と資本提携(持ち株比率25%)

- 1981年

4月

北米マツダ(MANA)を設立
- 4月

欧州駐在員事務所を設立
- 12月

防府(中間地区)のトランスミッション工場が稼働
- 12月

フォード車の販売チャネル「オートラマ」が設立される
- 1982年

9月

防府工場(西浦地区)が本格操業を開始
- 1983年

4月

コロンビア・CCA社で現地生産を開始
- 9月

韓国・起亜自動車へ資本参加
- 12月

新しい経営理念を制定、「マツダは新しい価値を創造し人びとの喜びをひろげます」



防府工場(西浦地区)

- 1984年

5月

マツダ株式会社へ社名を変更
- 10月

マツダ財団設立
- 11月

6代目社長に山本健一が就任
- 1985年

3月

マツダ北京事務所を設立
- 4月

インドで現地組立を開始、スワラジ・マツダ社で「タイタン」第1号車をラインオフ
- 5月

三次自動車試験場に総合性能試験路を新設
- 1986年

2月

国際規模の陸上競技スポーツクラブ「MAZDA TRACK CLUB」をスタート
- 1987年

3月

台湾で現地組立を開始
- 4月

米国の研究拠点「マツダR&Dセンター・アンナーバー」を開設
- 6月

「マツダ横浜研究所」を開設
- 9月

米国生産会社(MMUC)で量産第1号「マツダMX-6」がラインオフ
- 12月

7代目社長に古田徳昌が就任
- 1988年

5月

MI(マツダ・イノベーション)計画がスタート
- 5月

鈴木自動車工業㈱と軽自動車の生産協力で基本合意
- 5月

アメリカの「マツダR&Dセンター・アーバイン」が完成
- 7月

米国におけるオペレーションを整理統合し「MMA」「MRA」を設立
- 10月

欧州の販売会社「MME」を設立
- 1989年

2月

産業機械本部を分離・独立し、「マツダアステック(株)」「トーヨーエイテック(株)」を設立
- 3月

フォード社と共にオートラマへの資本参加を決定
- 4月

新しい国内販売チャネル「ユーノス」及び「オートザム」の各統括会社を設立
- 6月

東京支社を東京本社に呼称変更

- 1990年

1月

北海道釧路耐寒自動車試験場で竣工式を実施
- 5月

「マツダ欧州R&D事務所」(MRE)を開設
- 1991年

11月

国内販売チャネル「マツダオート」の名称を「アンフィニ」に変更
- 12月

8代目社長に和田淑弘が就任
- 1992年

2月

防府増設工場(H2)が本格操業を開始
- 6月

米国生産会社を「オートアライアンス・インターナショナル, Inc.」(AAI)に社名変更し、フォード社と共同経営に
- 9月

中国で現地生産を開始

1973

商品

- 1973年

6月

低公害車優遇税制の適用第1号となった「ルーチェAP」を発売
- 9月

3代目「ファミリアプレスト」を発売
- 1974年

2月

2代目「カベラ」を発売
- 1975年

4月

普通乗用車「ロードベースーAP」を発売
- 10月

燃費を40%改善したロータリーエンジン搭載車を一斉発売
- 10月

2代目「コスモAP」を発売
- 1976年

2月

「マツダ希薄燃焼型エンジン」を搭載したS51年排出ガス規制適合車を発売
- 5月

JAFグランプリでの優勝でサバンナが国内レース通算100勝を達成
- 1977年

1月

4代目「ファミリアAP」を発売
- 4月

2代目「プロシード」を発売
- 5月

2代目「タイタン」を発売、3000ccディーゼルエンジンを新搭載
- 8月

2代目「ボンゴ・ワイドロー」を発売、超低床・平床のトラック
- 9月

ロータリーエンジン搭載の「マーチ76S・マツダ」が富士GCシリーズで初優勝
- 1978年

1月

2代目「ボンゴ・マルチバン」を発売、タイヤハウスの突起がない平床バン
- 3月

小型スペシャルティカー「サバンナRX-7」を発売
- 10月

3代目「カベラ」を発売
- 1979年

2月

デイトナ24時間レースで「サバンナRX-7」がGTUクラス優勝
- 6月

アジア・太平洋地区のフォード社向けに商用車「エコノバン」「トレーダー」を供給開始



「ルーチェAP」

1980

- 1980年

5月

フォード社へ乗用車用マニュアルトランスミッション(MTX)の供給を開始
- 6月

5代目「ファミリア」(ハッチバック)を発売、FF方式を採用
- 9月

5代目「ファミリア」(サルーン)を発売
- 9月

アジア・太平洋地区のフォード社向けに乗用車「レーザー」の供給を開始
- 10月

3代目「タイタン」を発売、クラス初の副変速機を採用
- 12月

「ファミリア」が「1980-1981日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞
- 1981年

7月

スパ・フランコルシャン24時間レースで「サバンナRX-7」が日本車初の総合優勝
- 9月

3代目「コスモ」を発売
- 10月

4代目「ルーチェ」を発売
- 1982年

1月

2代目「パークウェイ」を発売
- 1月

フォード社へ乗用車用オートマチックトランスミッション(ATX)の供給を開始
- 6月

ル・マン24時間レースで「マツダRX-7 254」が総合14位で初完走
- 7月

フォード社へ商用車用ディーゼルエンジンの供給を開始
- 9月

4代目「カベラ」を発売、FF方式を採用
- 10月

オートラマへ乗用車「レーザー」「テルスター」を供給開始
- 12月

「カベラ/テルスター」が「1982-1983日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞
- 1983年

6月

1トン積み商用車「ボンゴブローニイ」(バン／ワゴン)を発売
- 9月

3代目「ボンゴ」(バン／ワゴン)を発売



5代目「ファミリア」

1984

- 1984年

1月

3代目「ボンゴ」(トラック)を発売
- 1月

1.5トン積み「ボンゴブローニイ」(トラック)を発売
- 1985年

1月

6代目「ファミリア」を発売
- 10月

2代目「サバンナRX-7」を発売
- 10月

「ファミリア」に日本初のフルタイム4WD車を追加
- 1986年

2月

フォード「フェスティバ」を発売
- 9月

5代目「ルーチェ」を発売、マツダ初のV型6気筒エンジン搭載
- 1987年

1月

小型乗用車「エチュード」を発売
- 2月

WRC第2戦・スウェディッシュラリーでファミリア4WDが日本車初の総合優勝
- 3月

P.W.S.(プレッシャー・ウェーブ・スーパーチャージャー)付ディーゼルエンジンの開発に成功
- 5月

5代目「カベラ」を発売、世界初の車速感应型4WSを採用
- 1988年

8月

高い仕上がり品質を実現する塗装技術「ハイレフコート」の開発に成功
- 9月

新型多目的車「マツダMPV」を北米市場で発売
- 10月

小型乗用車「ベルソナ」を発売
- 1989年

2月

7代目「ファミリア」を発売、5ドア「アスティナ」を発表
- 6月

軽商用車「スクラム」を発売
- 9月

フランスより「シトロエンBX」を輸入しユーノス店で発売
- 9月

ライトウェイトスポーツカー「ユーノスロードスター」を発売
- 11月

小型乗用車「ユーノス100」「ユーノス300」を発売
- 11月

2代目「キャロル」を発売、軽乗用車市場に再参入



「ユーノスロードスター」

1990

- 1990年

1月

「MPV」発売
- 2月

フォード製SUV「ナバホ」の米国導入を発表
- 2月

イタリアより「ランチア・テマ」「アウトビアンキ・Y10」を輸入しオートザム店で発売
- 4月

4代目「ユーノスコスモ」を発売、新開発の3ローター・ロータリーエンジンを搭載
- 9月

米国IMSAシリーズで「サバンナRX-7」が史上初の単一車種100勝を達成
- 9月

小型乗用車「レビュー」を発売
- 1991年

1月

普通乗用車「プロシード マービー」を発売
- 5月

普通乗用車「センチア」を発売
- 6月

小型乗用車「ユーノス・ブレッソ」を発売、量産世界初の1800ccV6エンジンを搭載
- 6月

小型乗用車「AZ-3」を発売
- 6月

第59回ル・マン24時間レースで「マツダ787B」が日本車初の総合優勝
- 10月

普通乗用車「クロノス」を発売
- 11月

普通乗用車「アンフィニMS-6」、「アンフィニMS-9」を発売
- 12月

3代目「アンフィニRX-7」を発売
- 12月

「アンフィニRX-7」が「RJCニュー・カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞
- 1992年

1月

普通乗用車「MX-6」を発売
- 2月

小型乗用車「ユーノス500」を発売
- 3月

普通乗用車「アンフィニMS-8」を発売
- 5月

普通乗用車「クレフ」を発売
- 10月

軽乗用車「AZ-1」を発売



第59回ル・マン24時間耐久レースでのマツダ787B

経営

- 1993年

10月

日産自動車(株)と商用車の相互OEM供給に関する基本契約を締結
- 12月

フォード社との新しい戦略的協力関係構築を発表
- 1994年

5月

企業見学施設「マツダミュージアム」をオープン
- 11月

国内自動車メーカーで初めて「ISO9002」の認証を取得
- 1995年

11月

フォード社と合併でタイに生産会社「オートアライアンス(タイランド)社」(AAT)を設立
- 

オートアライアンス・タイランド社(AAT)
- 1996年

4月

国内販売チャネル「アンフィニ」の名称を「マツダアンフィニ」に変更
- 4月

「ユーノス」店を「マツダアンフィニ」店もしくは「マツダ店」に統合
- 5月

フォード社の持ち株比率を25%から33.4%に引き上げ
- 6月

国内自動車メーカーで初めて「ISO9001」の認証を取得
- 6月

9代目社長にヘンリー D. G. ウォレスが就任
- 12月

マツダデジタルイノベーション(MDI)に着手
- 1997年

4月

新人事システムを導入
- 6月

新しいブランドシンボルを制定
- 10月

北米の子会社を「MMA」に統合、事業活動上のビジネス名を「マツダ ノースアメリカン オペレーションズ」(MNAO)に
- 11月

10代目社長にジェームズ E.ミラーが就任



マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V.(MLE)



- 1998年

4月

国内販売チャネル「オートザム」の名称を「マツダオートザム」へ変更
- 4月

商品開発の指針となるプロダクトフィロソフィーを制定
- 6月

ベルギーの「MME」と「MPE」を統合し、「マツダモーターヨーロッパG.m.b.H」(MME)を設立
- 7月

タイの生産会社(AAT)で小型ピックアップトラックの本格量産を開始
- 8月

マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V.(MLE)を設立
- 

マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V.(MLE)
- 1999年

4月

ブランドメッセージを「心を動かす新発想」へ
- 6月

三菱自動車工業(株)と小型商用車のOEM供給で合意
- 12月

11代目社長にマーク フィールズが就任
- 2000年

6月

全ての国内生産拠点で「ISO14001」の認証を取得
- 7月

乗用車共通のブランドDNAを策定、商品づくりの指針を深化
- 11月

中期経営計画「ミレニアムプラン」を発表
- 2001年

3月

早期退職優遇特別プランを実施
- 9月

宇品第2(U2)工場を閉鎖
- 2002年

1月

北海道・中札内試験場が竣工
- 3月

事業所内保育施設「わくわくキッズ園」を設置
- 4月

新ブランドメッセージ「Zoom-Zoom」を国内で本格展開
- 5月

執行役員制度を導入するなどコーポレートガバナンスを強化
- 6月

12代目社長にルイス ブースが就任
- 7月

環境負荷の少ない「スリー・ウエット・オン塗装技術」を導入
- 12月

経営諮問委員会を設置し、コーポレートガバナンスを強化

1993

1998

2003

2006

商品

- 1993年

6月

フォード社製「Bシリーズ・トラック」を北米で発売
- 9月

小型乗用車「ランティス」を発売
- 10月

普通乗用車「ユーノス800」を発売、世界初のミラーサイクルエンジンを搭載
- 1994年

6月

8代目「ファミリア」を発売、セダンと3ドアハッチバック「NEO」の2タイプ
- 8月

6代目「カペラ」を発売
- 9月

軽乗用車「AZ-ワゴン」を発売、スズキ(株)からのOEM供給車
- 10月

5代目「ファミリアバン」を発売、日産自動車(株)からのOEM供給車
- 1995年

2月

「プロシード レバンテ」を発売、スズキ(株)からのOEM供給車
- 5月

水素ロータリーエンジン車が運輸大臣認定を受け公道走行を開始
- 6月

「ボンゴフレンディ」を発売
- 10月

先進安全研究車「マツダASV」を開発
- 11月

3代目「キャロル」を発売
- 11月

2代目「センティア」を発売
- 1996年

3月

フォード社製「マツダ121」を欧州で発売
- 8月

小型乗用車「デミオ」を発売
- 11月

「デミオ／フェスティバミニワゴン」が「'96-'97RJCニュー・カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞
- 1997年

8月

7代目「カペラ」を発売
- 12月

燃料電池電気自動車「デミオFCEV」を開発



初代「デミオ」

- 1998年

1月

2代目「ロードスター」を発売
- 5月

電気自動車「ボンゴEV」を発売
- 6月

9代目「ファミリア」を発売
- 10月

4代目「キャロル」を発売、スズキ(株)からのOEM供給車に
- 10月

軽乗用車「AZ-オフロード」を発売
- 1999年

3月

軽乗用車「ラピュタ」を発売
- 4月

小型乗用車「プレマシー」を発売
- 6月

4代目「ボンゴ」(バン／トラック)を発売
- 6月

2代目「MPV」を発売
- 2000年

6月

5代目「タイタン」を発売
- 7月

「ロードスター」が"世界で最も多く生産された2人乗り小型オープンスポーツカー"としてギネスに認定
- 8月

フォード社との共同開発車「トリビュート」を北米市場から発売
- 10月

1.5トン積み小型トラック「タイタンダッシュ」を発売
- 2001年

2月

燃料電池自動車「プレマシーFC-EV」で国内初の公道走行試験を開始
- 5月

走行性能を高めた「マツダスピード ロードスター」「マツダスピードファミリア」を限定発売
- 5月

中国の一汽海南汽車有限公司(FHC)で「プレマシー」の組立生産を開始
- 2002年

1月

新型の直列4気筒エンジン(MZRエンジン)の国内生産を開始
- 2月

軽乗用車「スピアーノ」を発売
- 5月

新型ミッドサイズカー「アテンザ」を発売
- 8月

2代目「デミオ」を発売
- 11月

「アテンザ」が「2003RJCカー・オブ・ザ・イヤー」を受賞



初代「プレマシー」



初代「アテンザ」

- 2003年

4月

新人事制度「とびうお」を導入
- 8月

13代目社長に井巻久一が就任
- 2004年

4月

国内生産体制再編のため本社第1(F)工場での生産を終了
- 5月

宇品第2(U2)工場が2年8か月ぶりに再稼働
- 9月

マツダレンタカーの全株式を譲渡
- 11月

中期経営計画「マツダ モメンタム」を策定
- 12月

宇品第1(U1)工場の塗装ラインで火災が発生、完全復旧に4か月を要す
- 2005年

1月

中国統括会社「マツダ(上海)企業管理諮詢有限公司」を設立
- 2月

企業見学施設「マツダミュージアム」を全面リニューアル
- 8月

統括会社「マツダサウスイーストアジア リミテッド」(MSEA)をタイに設立
- 9月

フォード社、長安汽車集団と合併で南京にエンジン製造会社「長安フォードマツダエンジン会社」を設立



マツダミュージアム

- 2003年

1月

新世代ロータリーエンジン「RENESIS」の生産を開始
- 4月

4ドア・4シーターのスポーツカー「RX-8」を発売
- 6月

新世代ロータリーエンジン「RENESIS」が「インターナショナル・エンジン・オブ・ザ・イヤー2003」を受賞
- 10月

次世代スポーツコンパクト「アクセラ」を発売



初代「アクセラ」

- 11月

「RX-8」が「2004年次RJCカー・オブ・ザ・イヤー」を受賞
- 12月

「ボンゴ」のディーゼルエンジンにクラス初のDPFを採用、新短期規制と自動車NOx・PM法に適合

2004年

6月

6代目「タイタン」を発売、いすゞ自動車(株)からのOEM供給車

6月

新型コンパクトカー「ベリーサ」を発売

2005年

2月

2代目「プレマシー」を発売

8月

3代目「ロードスター」を発売

11月

「ロードスター」が「2005-2006 日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞



初代「ベリーサ」

- 2006年

4月

長安フォード社へ出資し「長安フォードマツダ汽车有限公司」(CFMA)に社名を変更
- 5月

美祿自動車試験場の開所式を実施



美祿自動車試験場開所式

2007年

3月

新中期計画「マツダ アドバンスメント プラン」を策定

3月

技術開発の長期ビジョン「サステイナブル“Zoom-Zoom”宣言」を発表

7月

エンジン工場の機械加工ラインでV型6気筒エンジンと直列4気筒エンジンの混流生産を実現

2008年

6月

CO₂排出量削減に向けた取り組みを発表、2015年までにマツダ車の平均燃費を30%向上

11月

フォード社の持株比率が33.4%から13.8%へ

11月

14代目社長に山内孝が就任

12月

新広島市民球場の命名権契約を締結し「MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島」に



初代「CX-7」

2007年

1月

7人乗りクロスオーバーSUV「CX-9」を北米市場で発売

4月

長安フォードマツダエンジン工場(南京)でのエンジン量産開始

7月

3代目「デミオ」を発売

11月

「デミオ」が「2008年次RJCカー・オブ・ザ・イヤー」を受賞

2008年

1月

「CX-9」が「2008 North American Truck of the Year」を受賞

1月

2代目「アテンザ」を発売

3月

「MAZDA2(デミオ)」が2008年「ワールド・カー・オブ・ザ・イヤー(WCOTY)」を受賞

7月

トールタイプミニバン「ピアンテ」を発売



初代「ピアンテ」

9月

直噴エンジンの技術を活用した独自のアイドリングストップ機構「アイ・ストップ(i-stop)」を開発

10月

フルウェー国家プロジェクトHyNorと共同で「RX-8ハイドロジェンRE」の現地公道走行を開始

経営

2009年 3月 「マツダ(中国)トレーニングセンター」を北京、上海、深センに開設
7月 AAT新乗用車工場完成
11月 公募増資によりフォード社の持株比率が13.8%から11.0%へ
2010年 3月 トヨタ自動車(株)とハイブリッド技術ライセンスの供与で合意
9月 「ひろしまの森林(もり)づくりフォーラム」に加入し、「マツダの森」を通じた地域の森林保全活動に協力開始
11月 フォード社の持株比率が11.0%から3.5%へ、戦略的提携関係は継続
2011年 2月 広島大学と包括的連携に関する協定を締結
6月 社外取締役制度を導入
2012年 1月 マツダ病院の新棟(入院棟)を竣工
2月 中長期施策の枠組みを強化する「構造改革プラン」を発表
9月 ロシアにソラース社との現地合弁生産会社「マツダソラースマヌファクチュリングルース」を設立
11月 トヨタ自動車(株)と、マツダのメキシコ新工場におけるトヨタ車の生産について合意

2013年 1月 フィアット社とオープン2シータースポーツカー生産に向けた事業契約を締結
6月 東日本大震災の被災児童自立支援プロジェクト「Support Our Kids」ホームステイプログラムの支援を発表
6月 15代目社長に小飼雅道が就任
7月 タイの新トランスミッション工場の起工式を実施
8月 メキシコ新工場にエンジン機械加工工場の新設を発表
2014年 5月 マレーシアのイノコム社にマツダ車専用の車両組立工場が完成
7月 新しいコンセプトの販売店「新世代店舗」の展開を発表
9月 本社ロビーをリニューアル
10月 ミャンマー市場に再参入しASEAN加盟国のすべてでマツダ車を販売



メキシコ工場「MMVO」

2015年 4月 中期経営計画「構造改革ステージ2」を発表
5月 トヨタ自動車(株)と業務提携に向けて基本合意
5月 「ひろしま自動車産学官連携推進会議」の設置を発表



トヨタとマツダ、業務提携に向け基本合意

2016年 1月 直営ショールーム「マツダブランドスペース大阪」をオープン



マツダブランドスペース大阪

4月 「アクアテック塗装」のグローバル展開を開始
6月 兵庫県立大学との共同研究を開始
7月 マツダとイすゞ、自動車(株)イすゞ製次世代ピックアップトラックのOEM供給で合意
9月 ロシアとのソラース社との合弁生産会社がエンジン工場設立についてロシア政府と特別投資契約を締結
11月 「マツダ自動車保険 スカイプラス」を導入

2009

商品

2009年 6月 2代目「アクセラ」を発売、先進のアイドリングストップ機構「i-stop」を採用
6月 環境負荷の少ない水性塗装技術「アクアテック塗装」の導入を開始
2010年 7月 3代目「プレマシー」を発売
9月 デザインテーマ“魂動ーSoul of Motion”とデザインコンセプトカー「マツダ鞆(SHINARI)」を発表



マツダ 鞆(SHINARI)

10月 次世代技術「SKYACTIV」を発表
2011年 2月 「ロードスター」が累計生産90万台を達成、ギネス記録更新を申請
11月 キャバインターを採用した減速エネルギー回生システム「i-ELOOP」を開発
2012年 2月 クロスオーバーSUV「CX-5」を発売、新世代「SKYACTIV技術」と新デザインテーマ「魂動」を全面採用
6月 トールタイプの軽乗用車「フレアワゴン」を発売
10月 軽乗用車「フレア」「フレア カスタムスタイル」を発売
11月 3代目「アテンザ」を発売、先進安全技術「i-ACTIVSENSE」を初搭載
11月 「CX-5」が「2012-2013 日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞



新型「CX-5」

2013

2013年 9月 新世代のカーコネクティビティシステム「Mazda Connect」および新世代HMIを発表
11月 「アテンザ」が「2014年次RJCカー・オブ・ザ・イヤー」を受賞
11月 3代目「アクセラ」を発売、「SKYACIV-HYBRID」を初採用
2014年 1月 SUVタイプの軽乗用車「フレアクロスオーバー」を発売
6月 「アクセラ教習車」の累計生産台数が1万台を達成
9月 新型「ロードスター」を世界初公開



マツダ新型「ロードスター」の初公開イベント(THANKS DAY in JAPANの様子)

9月 4代目「デミオ」を発売
10月 「デミオ」が「2014-2015 日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞

2015

2015年 1月 タイの新トランスミッション工場(MPMT)で「SKYACTIV-DRIVE」の生産を開始
2月 コンパクトクロスオーバーSUV「CX-3」を発売



初代「CX-3」

5月 4代目「ロードスター」を発売
6月 新型「ロードスター」から「電子取扱説明書」を導入
9月 フランクフルトモーターショーで「マツダ越 KOERU」を初公開、ドイツにおいて3つのデザイン賞を受賞
10月 第44回東京モーターショーでコンセプトモデル「Mazda RX-VISION」を世界初公開



「Mazda RX-VISION」

11月 新型3列ミッドサイズクロスオーバーSUV「CX-9」をロサンゼルスオートショーにて世界初公開
12月 「ロードスター」が「2015-2016 日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞

2016

2016年 1月 「Mazda RX-VISION」がフランスで最も美しいコンセプトカーに選出
3月 「ロードスター」が2016年「ワールド・カー・オブ・ザ・イヤー(WCOTY)」と「ワールド・カー・デザイン・オブ・ザ・イヤー(WCDOTY)」をダブル受賞
3月 リトラクタブルハードトップモデル「MX-5 RF」を世界初公開
4月 新型クロスオーバーSUV「CX-4」を世界初公開
5月 2代目「CX-9」を北米で発売



2代目「CX-9」

6月 クロスオーバーSUV「CX-4」を中国で発売
7月 新世代車両運動制御技術「SKYACTIV-VEHICLE DYNAMICS」を発表
11月 新ボディカラー「ソウルレッドクリスタルメタリック」を開発
12月 リトラクタブルハードトップ「ロードスター RF」を発売



「ロードスター RF」

経営

- 2017年 2月 「健康経営優良法人～ホワイト500～」の認定を取得
3月 先進安全技術「i-ACTIVSENSE」の標準装備化を発表
8月 トヨタ自動車(株)と業務資本提携に関する合意書を締結
8月 初代「ロードスター」を対象としたレストアサービスの開始を発表
8月 技術開発の長期ビジョン「サステイナブル"Zoom-Zoom"宣言2030」を発表



「サステイナブル"Zoom-Zoom"宣言2030」を公表

- 9月 世界的なESG投資指標「Dow Jones Sustainability Index」に初選定
9月 (株)デンソー、トヨタ自動車(株)と電気自動車の共同技術開発契約を締結、新会社の設立を発表

- 2018年 1月 マツダとトヨタ自動車(株)、米国アラバマ州に合併新工場を建設—2021年稼働開始に向けて、16億米ドルを投資し、約4000名を雇用—
1月 国連グローバル・コンパクトに署名
3月 トヨタ自動車(株)との米国生産に向けた合併新会社「MTMUS」を設立



MTMUS搬入れ式

- 3月 マツダ/エリーパワー/宇部興産、自動車始動用12Vリチウムイオンバッテリーの共同開発契約を締結
4月 防府第2工場、本年8月に2直操業へ
6月 16代目社長に丸本明が就任
10月 電動化およびコネクティビティの技術戦略を発表
2019年 1月 中国におけるエンジン生産合併会社の社名を「長安マツダエンジン有限公司」に変更
1月 「長安フォードマツダエンジン有限公司」のフォード社保有株式をマツダが取得
6月 いすゞ、スズキ、SUBARU、ダイハツ、マツダがMONETと資本・業務提携
6月 監査等委員会設置会社へ移行
11月 中期経営計画を発表

経営

- 2020年 1月 1月30日の創立記念日で100周年を迎える
5月 「知的財産に関する新型コロナウイルス感染症対策支援宣言」に参画



創立100周年記念式典

2017

商品

- 2017年 2月 2代目「CX-5」を発売
6月 「CX-3」がWLTCモード走行試験の認可を取得
8月 「マツダ アクセラ」を商品改良—「360°ビューモニター」を初採用—
8月 圧縮着火の次世代ガソリンエンジン「SKYACTIV-X」を発表
10月 第45回東京モーターショーで次世代デザインビジョンモデル「マツダVISION COUPE」を世界初公開
11月 低環境負荷で高質感のバイオエンジニアリングプラスチックを「MAZDA CX-5」のフロントグリルに採用
12月 3列シートクロスオーバーSUV「CX-8」を発売



「CX-8」

2018

- 2018年 2月 「マツダ VISION COUPE」がフランスにて「最も美しいコンセプトカー」に選出
3月 「マツダ VISION COUPE」が欧州にて「コンセプトカー・オブ・ザ・イヤー」を受賞
4月 次世代ガソリンエンジン「SKYACTIV-X」が「2018 Edision Award(エジソン賞)」の金賞を受賞
10月 車両運動制御技術「G-ベクタリング コントロール プラス(GVC Plus)」を開発
11月 「MAZDA CX-8」が「2018～2019日本自動車殿堂 カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞
12月 コネクティビティ技術を活用した移動サービス実証実験を広島県三次市で開始
2019年 1月 1310MPa級高張力鋼板冷間プレス部品を世界で初めて開発—新型「MAZDA3」から順次採用—
4月 新型「マツダ教習車」を発表—教習車の理想を追求したコンパクトセダン
5月 新型「MAZDA3」を発売、新世代車両構造技術「SKYACTIV-VEHICLE ARCHITECTURE」を搭載
8月 国内の「アテンザ」を「MAZDA6」に車名変更
9月 国内の「デミオ」を「MAZDA2」に車名変更
10月 クロスオーバーSUV「CX-30」を発売
10月 第46回東京モーターショーで初の量産EV「MAZDA MX-30」を世界初公開



新型「MAZDA3」



「CX-30」

2020

商品

- 2020年 4月 「100周年特別記念車」の予約受注を開始
4月 「MAZDA3」が2020年「ワールド・カー・デザイン・オブ・ザ・イヤー」を受賞
6月 マツダオフィシャルグッズ「MAZDA COLLECTION」が登場
6月 新型「MAZDA BT-50」を世界初公開

■最新情報について

「会社の概要」および「役員」に関する情報に変更があった場合、最新の情報を下記URLのホームページにて掲載します。

<https://www.mazda.com/ja/about/profile/>

■マツダ株式会社のその他の情報開示ツール

会社概況に加えて、以下のツールでもマツダの考え方、活動、データの情報開示をしています。

サステナビリティレポート

マツダのCSR(企業の社会的責任)についての報告書

<https://www.mazda.com/ja/csr/download/>

アニュアルレポート

マツダの投資家向け年次報告書

<https://www.mazda.com/ja/investors/library/annual/>

有価証券報告書など

<https://www.mazda.com/ja/investors/library/s-report/>

マツダ株式会社

発行：マツダ株式会社 広報本部

広島本社:広島県安芸郡府中町新地3-1 〒730-8670

東京本社:東京都千代田区霞が関3-2-5

霞が関ビルディング25階 〒100-6025

発行年月:2020年8月

マツダコールセンター 0120-386-919

受付時間/月~金 9:00~17:00

土日・休日 9:00~17:00(12:00~13:00を除く)

マツダホームページURL

<https://www.mazda.co.jp/>